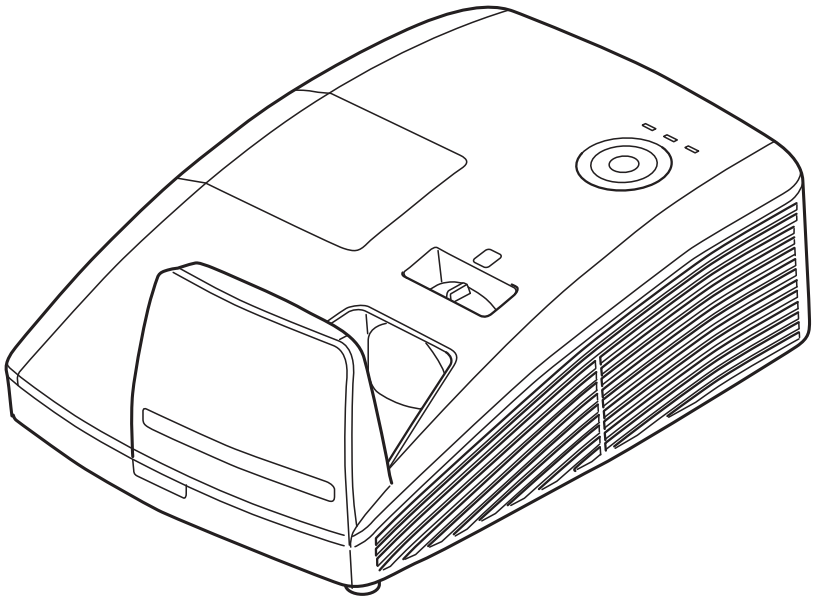
Canon

POWER PROJECTOR

LV-WX300UST
LV-WX300USTi
使用説明書



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。
本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

著作権

本書（すべての写真、図、ソフトウェアを含む）は、国際著作権法によって保護されており、無断転載は禁じられています。著者の許諾を受けることなく、本マニュアルおよび本マニュアル中の資料を複製することは禁じられています。

© Copyright 2015

免責事項

本書に記載された情報は予告なく変更されることがあります。製造元は本書の内容について一切の表明および保証をいたしません。また、商品性および特定目的への適合性について、いかなる黙示的保証もいたしません。製造元は、本書を随時改訂して、本書の内容を随時変更する権利を保有します。その際には、製造元は、誰に対しても改訂および変更について連絡する義務はないものとします。

商標について

Kensington は、全世界における登録交付済みおよび申請中の ACCO Brand Corporation の米国登録商標です。

HDMI、HDMI Logo、および High-Definition Multimedia Interface は米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

本マニュアルで使用されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者に帰属し、承認されています。

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

バージョン：2

プロジェクタの取り付けについて

- プロジェクタは水平に置いてください。
  プロジェクタの傾き角度は 15 度を越えないようにします。また、プロジェクタは、デスクトップや天井取り付け以外の方法で取り付けないでください。ランプの寿命が著しく低下し、他の***予測できない損傷を被る可能性があります。***

- 排気口の周辺には最低 50 cm の空間を保ちます。

- 排気口からの熱い空気が吸気口に入らないようにします。
- プロジェクタを囲まれた空間で使用する場合は、プロジェクタの動作中に、囲まれた空間内の周囲空気温度が動作温度を超えないようにします。また、吸気口と排気口を塞がないようにします。

設置場所の確認

製品に付属している電源コードを使用し、適切なアース処理を行ってください。

- 電圧が安定しており、適切にアースされ、漏電がないことを確認します。
- 安全容量を超えない合計消費電力を測定し、安全問題とショートを避けます。
- 高地では、ファンモードを高地にします。
- プロジェクタは平置きまたは反転状態でのみ取り付けることができます。
- ブラケットを取り付けるとき、重量制限を超えずしっかり固定されていることを確認してください。
- エアコンのダクトやサブウーファーの傍への設置は避けてください。
- 高温、不十分な冷却および埃の多い場所への設置は避けてください。
- 赤外線干渉に起因する誤動作を避けるために、製品を蛍光灯に近づけないでください。
- VGA 入力コネクタは、VGA 入力ポートに接続する必要があります。最適の表示効果を得るためには、信号線が適切に接続されるように、ねじの両側をきつく締め付けて、しっかり挿入する必要があります。
- 音声入力コネクタは音声入力ポートに接続する必要があります。オーディオ出力や BNC や RCA のような他のポートには接続できません。接続すると、ポートから音が出なくなったり場合によってはポートが損傷することもあります。
- 電源コードと信号ケーブルを接続してから、プロジェクタの電源をオンにしてください。プロジェクタの起動と操作中は、プロジェクタが損傷する可能性があるため、信号ケーブルや電源コードの挿入/取り外しは行わないでください。

冷却に関する注意

排気口

- 冷却が妨げられないように、排気口から 50cm 以内に妨害物を置かないようにしてください。
- 映像が乱れる原因となるため、他のプロジェクタのレンズの前に排気口がこないようにしてください。
- 排気口は、他のプロジェクタの吸入口から 100cm 以上離すように設置してください
- プロジェクタは、使用中大量の熱を発生させます。**電源オフ後も内部ファンは一定時間回転を続け、プロジェクターの放熱をします。**停止プロセスの間電源コートを外さないでください。プロジェクタが損傷する原因となります。

吸気口

- 吸**気**を妨げる物体を吸入口から 30cm 以内に置かないようにしてください。
- 吸入口は他の熱源に近づけないでください
- きわめて埃の多い場所は避けてください

本使用説明書について

本マニュアルでは、エンドユーザー向けに、DLP プロジェクタの取り付け方法および操作方法を説明します。関連情報（取り付けおよびその説明など）はできるだけ同じページに記載しています。プリンターフレンドリーな形式なので、印刷が簡単なことに加え、紙を節約して環境を保護します。必要なセクションだけを印刷することを推奨します。

目次

安全にお使いいただくために 1

始めましょう 11

同梱されているもの 11
プロジェクタの各部の説明 12
前面図 12
ファンクションキーとLED 13
背面図 14
底面図 16
リモコンの各部の名称 17
リモコンの動作範囲 18
プロジェクタとリモコンのボタン 18

セットアップと操作 19

リモコンに電池を挿入する 19
プロジェクタを起動する/シャットダウンする 20
アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック） 21
プロジェクタの高さを調整する 23
フォーカスとキーストーンを調整する 24
音量を調整する 24

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー設定 25

OSD メニューコントロール 25
OSD を操作する 25
OSD 言語を設定する 26
OSD メニューの概要 27
イメージメニュー 30
アドバンス機能 31
カラーマネージャ 32
コンピュータメニュー 33
ビデオ/音声メニュー 34
音声 35
設置 I メニュー 36
アドバンス機能 37
設置 II メニュー 38
アドバンス機能 39
OSD メニュー設定 40
周辺機器テスト 40
3D 41
ネットワーク設定 42
工場出荷状態リセット 47
状態 47

メンテナンスとセキュリティ 48

ランプを交換する 48
ランプ使用時間をリセットする 50
プロジェクタを清掃する 51
プロジェクタの鏡を清掃する 51
物理的ロックを使用する 52
Kensington ³ ロックを使用する 52
セキュリティバーを使用する 52

トラブルシューティング 53

トラブルシューティングについてのアドバイス 53
LED メッセージ 54
画像の問題 54
ランプの問題 55
リモコンの問題 55
音声の問題 55
プロジェクタを点検修理に出す 55

仕様 56

設置距離と投映サイズ 57
設置距離とサイズの一覧 57
対応信号一覧 58
プロジェクタの寸法 (LV-WX300UST) 60
プロジェクタの寸法 (LV-WX300USTI) 61

付録 I 62

RS-232 プロトコル 62

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
⚠注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
分解禁止 接触禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
禁 止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
アース線を接続する 電源プラグをコンセントから抜け	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。
注 意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

- 煙が出ている
- 変なにおいや音がする
- 大きな音がしてランプが消えた
- 水など液体が本機に入った
- 金属類や異物が本機に入った
- 本機を倒したり、落としたりしキャビネットを破損した

⚠警告

電源コードの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱しないでください。
- 電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。

- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。

- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。コードが傷つきます。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。

- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。

- 電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

⚠警告

誤飲に関して以下の点にご注意ください。

- リモコンの電池や電池ホルダー、また調整脚が取れた場合の調整脚などの小さな部品は小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因になります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

設置のときのご注意

⚠警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。

- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。

- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機(消耗品を含む)・リモコンを分解や改造をしないでください。

- 吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 投写中に本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

- 動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因になりますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。

- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 動作中、レンズキャップを着けたり、レンズの前に物を置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因になることがあります。

- 長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

⚠警告

ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。

- ランプ交換のときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性が あります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

- ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意
  電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。また、本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたりランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。
- ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立ず、横から作業してください。万一、ランプが破裂し破片などを吸い込んだり目や口に入ったときは、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有） や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

⚠注意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

禁止

- ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、45 分以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。

注意

- 使用済み水銀ランプを捨てるときは各自治体の条例に従って廃棄してください。

リモコンの電池に関するご注意

⚠警告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

禁止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 電池は充電しないでください。

注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- ＋と- の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで電池内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

3D 視聴についての安全上のご注意

⚠ 注意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。

禁 止

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
- 体調不良や、疲れた状態での 3D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、3D 映像の視聴を控えてください。
- 以下のような症状が出た場合は、すぐに 3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
  - 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
  - 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。

注 意

- 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。3D 映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離で覧ください。画面正面のなるべく適正な距離(画面縦寸法の約 3 倍以上が目安) から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。

正しくお使いいただくために

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。

注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になることがあります。
- ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
- 本機の接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となります。
- 調整脚をおさめてください。

設置または使用に際しては、以下の点にご注意ください。

注意

- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。
- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、映像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の映像が映るまでお待ちください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

正しくお使いいただくために

使用温度と保管温度の範囲は次の通りです。

注意

- 使用温度範囲:5 ℃～ +40 ℃
- 湿度:10%～ 90%まで
- 保管温度範囲-20 ℃～ +60 ℃
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因になることがあります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもりランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因になることがあります。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- プロジェクターのトッププレートを磨いたり、擦ったりしないでください。表面に傷が付く恐れがあります。

設置および取り扱い上のご注意

⚠警告

禁　止

- 湿度の高い場所やホコリの立ちやすい場所、油煙やタバコの煙が多い場所には本機を設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品が汚れ、画質が低下する原因となります。また、油はプラスチック部分の劣化をまねき、天井に取り付けたプロジェクターが落下する危険性があります。
- 接着剤、潤滑油、油、アルカリ性洗剤のご使用はお止めください。プラスチックに付着して劣化の原因となるばかりでなく、本機が天井に取り付けられている場合は落下する危険性があります。

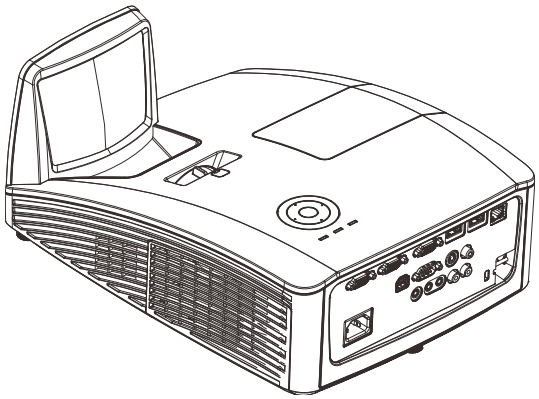
注　意

- 本機を天井などの高い場所に設置する場合は、落下防止用ワイヤーなどをお使いください。

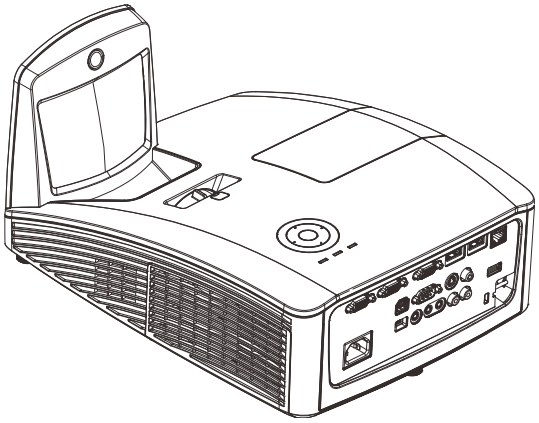
- レンズにクリーニングペーパーやクリーナーは使用しないでください。
- レンズのお手入れを開始する前に、必ず本機の電源を切り冷却してください。

同梱されているもの

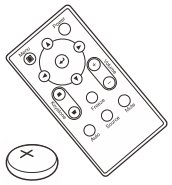
プロジェクタを丁寧に開梱して、次のものがすべて揃っていることを確認します。



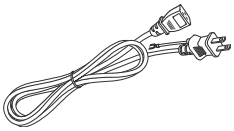
LV-WX300UST



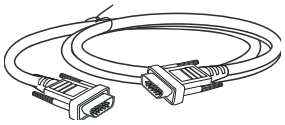
LV-WX300USTi



リモコン品番:LV-RC10
(3V CR2025 電池 1 個付き)

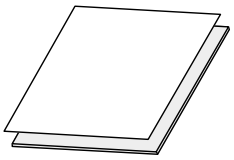


電源コード (1.8M)

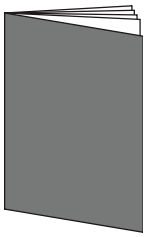


VGA ケーブル (1.8M)

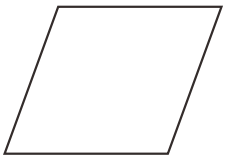
CD-ROM
(本使用説明書)



かんたんガイド



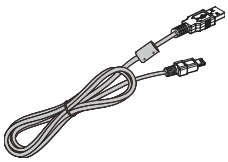
重要なおしらせ
(IMPORTANT INFOMATION)



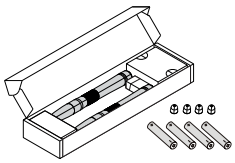
保証書

LV-WX300USTi 専用同梱品

CD-ROM
(インタラクティブアプリ)



USB ケーブル
(A-TYPE TO MINI 5.0M/16.4')

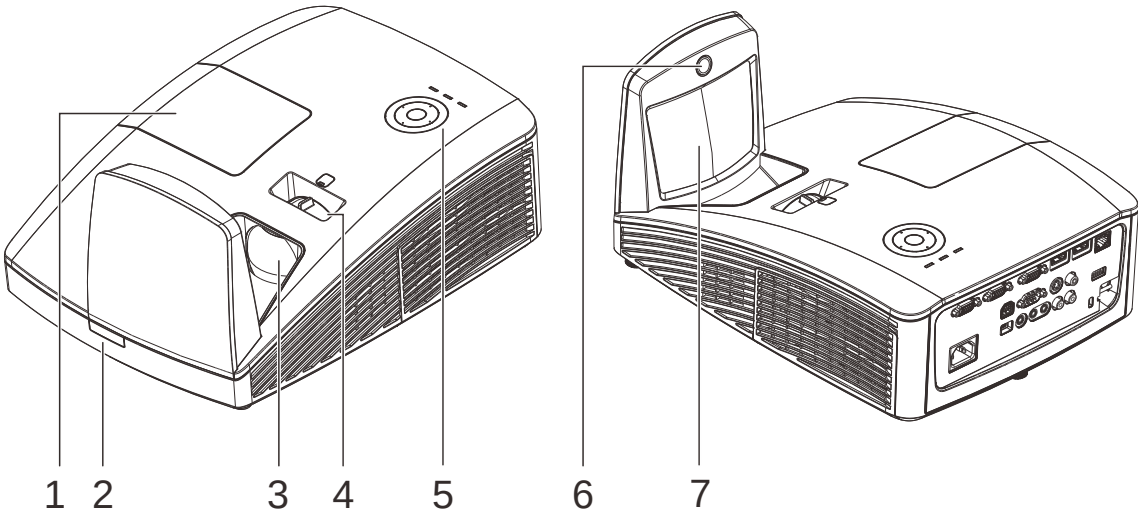


インタラクティブペン2本
(単4電池4本、ペン先4個付き)

不足しているものや破損しているものがある場合や、ユニットが動作しない場合は、直ぐに販売店までご連絡ください。

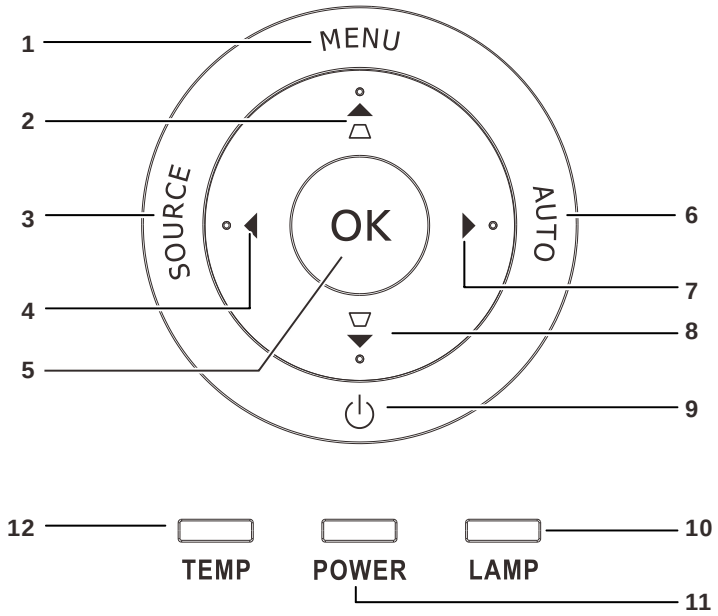
プロジェクタの各部の説明

前面図



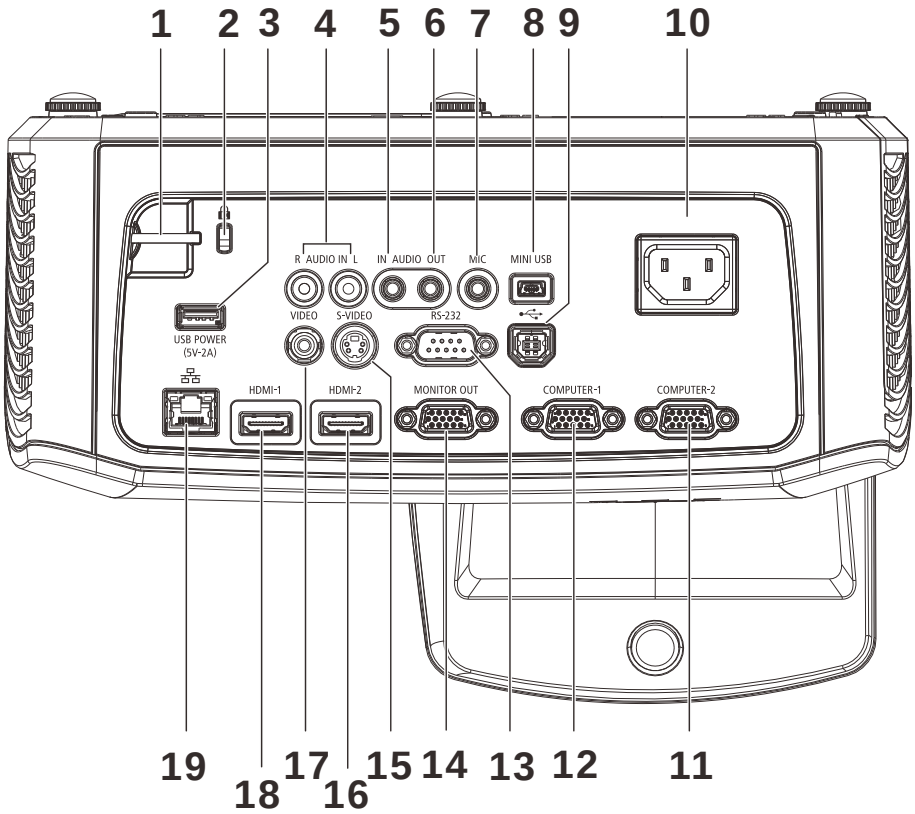
項目	名称	説明	参照ページ:
1.	ランプカバー	ランプを交換するにはカバーを取り外します	
2.	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します	
3.	レンズ	投映レンズ	
4.	フォーカスリング	投映画像の焦点を合わせます	
5.	ファンクションキー	「ファンクションキーと LED」を参照してください。.	***13***
6.	インタラクティブカメラ	インタラクティブ機能で使用します *LV-WX300USTi のみ	
7.	反射ミラー	画像を反射します	

ファンクションキーとLED



項目	名称	説明		参照ページ:
1.	MENU	OSD メニューを開いたり閉じたりします		25
2.	▲	OSD 内で移動します キーストーンの調整		
3.	SOURCE	入力信号を選択します		
4.	◀	OSD 内の設定を移動したり変更します		25
5.	OK	選択した OSD メニュー項目を確定します		
6.	AUTO	画像のサイズ、位置、および、解像度を最適化します		
7.	▶	OSD 内の設定を移動したり変更します		25
8.	▼	OSD 内で移動します キーストーンの調整		
9.	⏻	プロジェクタの電源を ON/OFF します		
10.	LAMP LED	点灯	Lamp error（ランプエラー）	54
		点滅	エラーコード	
11.	POWER LED	点灯	電源オン、スタンバイ	
		点滅	冷却中、起動中、エラーコード	
12.	TEMP LED	点灯	Over Temperature（高温）	

背面図

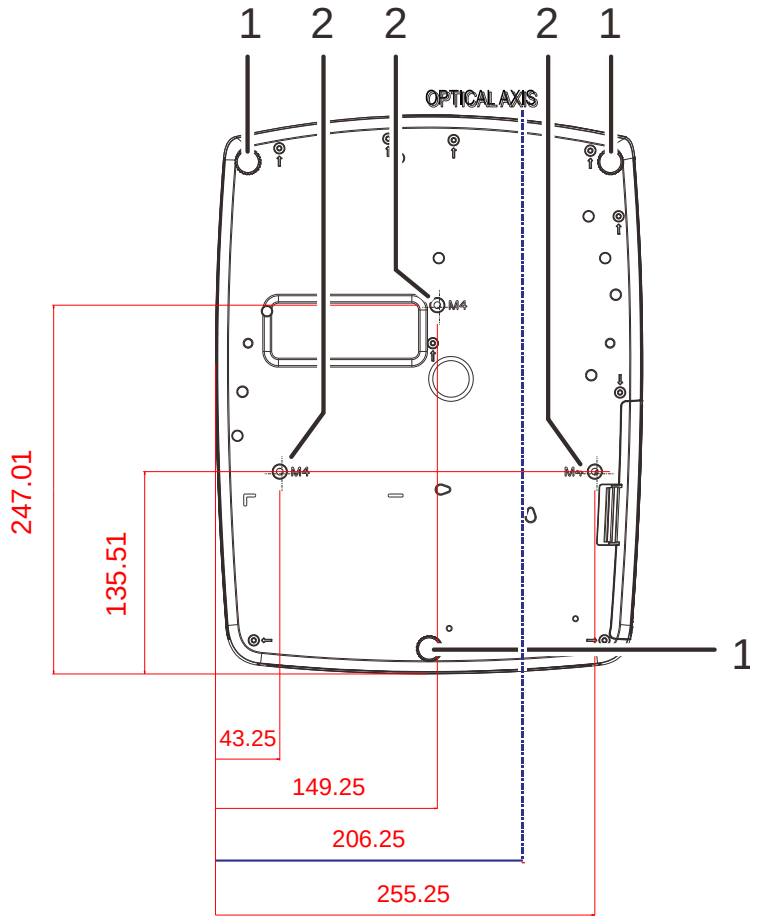


項目	名称	説明	参照ページ:
1.	セキュリティバー	セキュリティ用	52
2.	ケンジントンロック	Kensington® Lock システムでプロジェクタを固定します	
3.	USB 電源(5V-2A)	電源供給用 USB ケーブルを接続します *LV-WX300USTi のみ	
4.	AUDIO L/R (VIDEO /S-Video 用)	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します	
5.	AUDIO IN (VGA-1/VGA-2 用)	オーディオ機器からのオーディオケーブルを接続します	
6.	AUDIO OUT	オーディオアンプにオーディオケーブルを接続します	
7.	MIC	使用するマイクを接続します。接続中は他の音声は出力しません	
8.	Mini USB	コンピュータからの USB ケーブルを接続します *LV-WX300USTi のみ	
9.	USB	コンピュータからの USB ケーブルを接続します	
10.	AC 入力	電源コードを接続します	20
11.	COMPUTER-2	コンピュータまたはコンポーネント機器からの VGA ケーブルを接続します	
12.	COMPUTER-1	コンピュータまたはコンポーネント機器からの VGA ケーブルを接続します	
13.	RS-232	コントロール用の RS-232 シリアルポートケーブルを接続します	

項目	名称	説明	参照ページ:
14.	MONITOR OUT	VGA ケーブルをディスプレイに接続します （VGA 入力 1 専用ループスルー）	
15.	S-Video	ビデオ機器からの S ビデオケーブルを接続します	
16.	HDMI-2	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続しま*	
17.	VIDEO	ビデオ機器からのコンポジットケーブルを接続します	
18.	HDMI-1	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続します*	
19.	RJ – 45	LAN ケーブルを接続します	

*一部のカメラとの HDMI 接続では 3D の設定をオフにする必要があります。

底面図

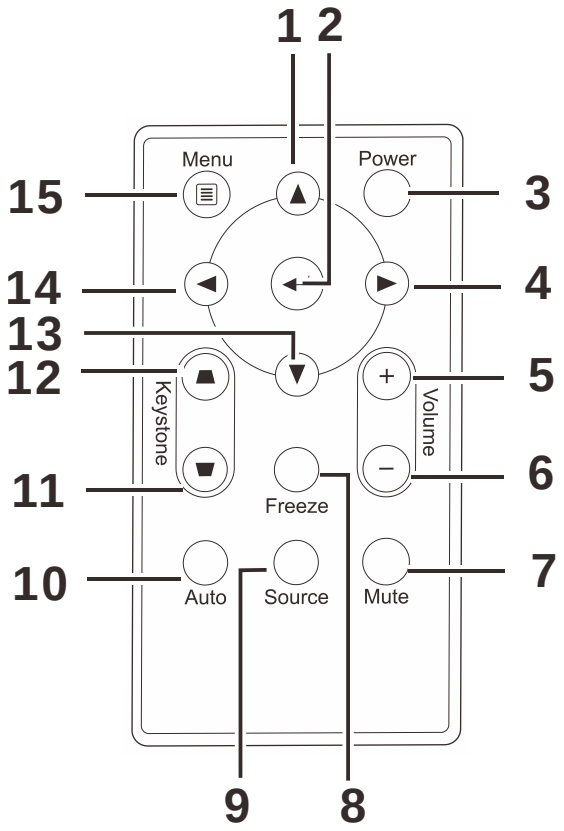


項目	名称	説明	参照ページ:
1.	傾き調整用アジャスタ	アジャスタレバーを回して角度位置を調整します	***23***
2.	壁掛取付用穴	プロジェクタを壁に取り付ける方法については、販売店までお問い合わせください。	

注意:
設置工事は必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。

壁掛けは専用の壁掛け金具（品番:LV-WL02）をご使用ください。

リモコンの各部の名称



重要:

***1.** 明るい蛍光灯を点灯した場所でプロジェクタを使用することはお止めください。高周波蛍光灯は、リモコンの動作を妨げることがあります。*

***2.** リモコンとプロジェクタの間に障害物がないことを確認します。*

***3.** プロジェクタ上のボタンとキーの機能は、リモコン上の対応するボタンの機能と同じです。本ユーザーズマニュアルでは、リモコンに基づいて機能について説明します。*

項目	名称	説明	参照ページ:
1.	▲	OSD 内の設定を移動したり変更します	25
2.	↵	OSD 内の設定を変更します	
3.	Power	プロジェクタの電源を入れます/切ります	20
4.	▶	OSD 内の設定を移動したり変更します	25
5.	Volume +	音量を上げます	24
6.	Volume -	音量を下げます	
7.	Mute	内蔵スピーカーを消音にします	
8.	Freeze	画面上の画像を静止します/静止を解除します	
9.	Source	入力機器を検出します	
10.	Auto	周波数、トラッキング、サイズ、位置を自動調整します	
11.	Keystone ▼	画像の台形歪み（上辺が長い）を補正します	24
12.	Keystone ▲	画像の台形歪み（下辺が長い）を補正します	
13.	▼	OSD 内の設定を移動したり変更します	25
14.	◀	OSD 内の設定を移動したり変更します	
15.	Menu	OSD メニューを開いたり閉じたりします	

リモコンの動作範囲

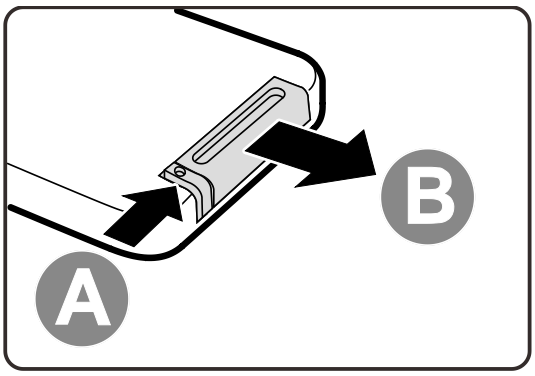
リモコンは赤外線伝送を使ってプロジェクタを制御します。リモコンはプロジェクタに直接向ける必要はありません。リモコンをプロジェクタの側面または背面に対して垂直になるように向けていなければ、リモコンは、プロジェクタから約 7 メートル（23 フィート）の半径、プロジェクタの高さから上下 15 度で機能します。プロジェクタがリモコンに反応しない場合は、少し近づきます。

プロジェクタとリモコンのボタン

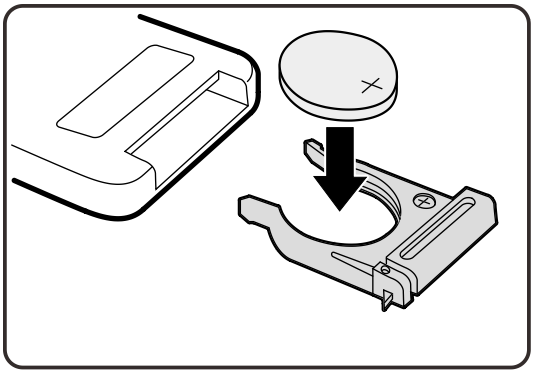
プロジェクタは、リモコン、または、プロジェクタの上部にあるボタンを使って操作します。すべての操作はリモコンでできますが、プロジェクタ上のボタンの使用には制限があります。

リモコンに電池を挿入する

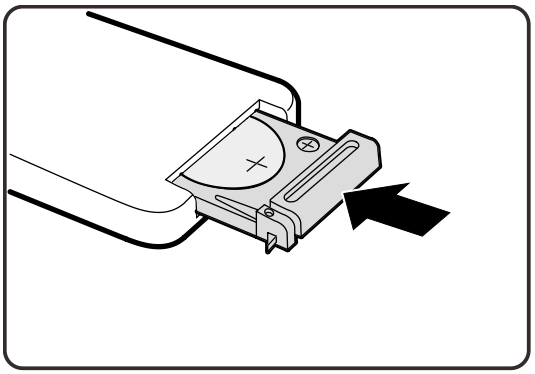
1. 電池収納部のカバーを、矢印の方向へ移動して取り外します (A)。カバー (B) を引き外します。



2. + 極を上向きにして電池を挿入します。



3. カバーを元に戻します。



注意:

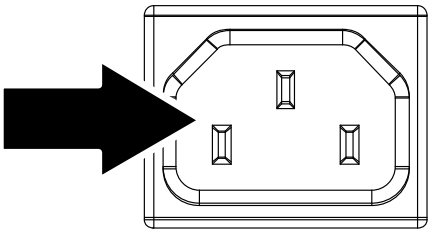
1. *リチウム電池 (CR2025) 以外、使わないでください。*

2. *使用済み電池を廃棄する際には、お住まいの地域の規制に従ってください。*

3. *リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。*

プロジェクタを起動する/シャットダウンする

1. 電源コードをプロジェクタに接続します。もう一方の端をコンセントに接続します。



2. 接続した機器をオンにします。

3. **POWER** LED が緑色に点灯することを確認します。次にリモコンの **Power** ボタンを押して、プロジェクタをオンにします。

スプラッシュ画面が表示され、接続した機器が検出されます。

セキュリティー・ロックが有効な場合は*アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック）* ページの「**21**」

4. 複数の入力機器を接続した場合は、リモコンの **Source** ボタンを押し、▲▼ を使って、機器をスクロールします。(コンポーネントには、COMPUTER-1 /2 からコンポーネントアダプタで対応します。)

- VGA 1/VGA 2:アナログ RGB
  コンポーネント:DVD 入力 YCbCr / YPbPr、または、HD15 コネクタ経由の HDTV 入力 YpbPr
- コンポジット：コンポジットビデオ入力
- S-Video：S-Video 入力
- HDMI1/HDMI2：HDMI、DVI

5. Power ボタンを押し、メッセージが表示されたら、**Power** ボタンを押します。プロジェクタがオフになります。

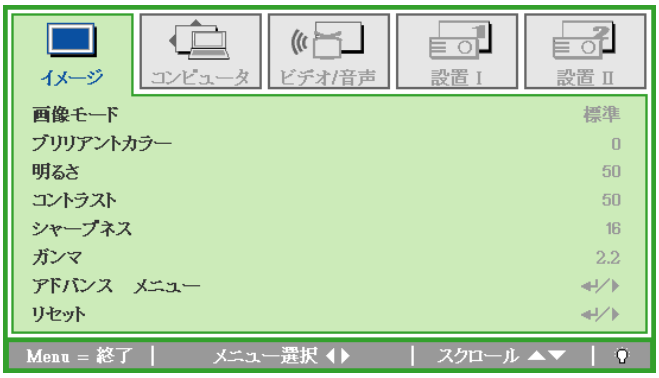
注意：
プロジェクタの POWER LED が点滅から点灯になるまで、電源コードのプラグを抜かないでください。

アクセスパスワードを設定する（セキュリティー・ロック）

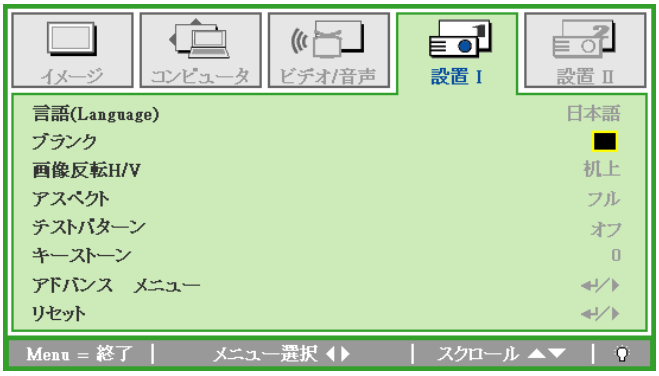
4 つのボタンを使ってパスワードを設定し、認証されていない人がプロジェクタを使用することを防止できます。有効にすると、プロジェクタの電源を入れた後で、パスワードを入力する必要があります。（OSD メニューの使い方については、*OSD を操作する* ページの「25」、および、*OSD 言語を設定する* ページの「26」を参照してください。）

> ***重要:***
> *パスワードは安全な場所に保管してください。パスワードがないと、プロジェクタを使用できません。パスワードを紛失した場合は、パスワードをクリアする方法について、小売店までお問い合わせください。*

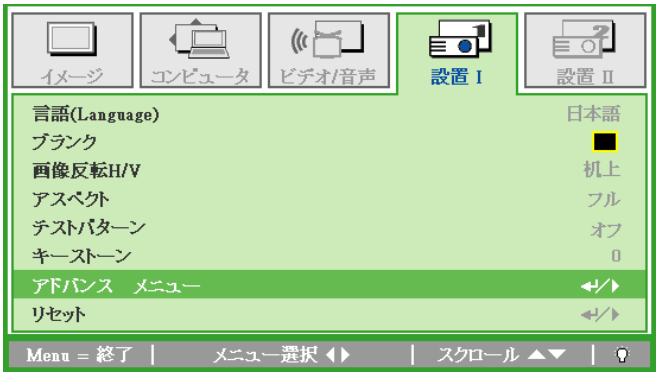
1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。



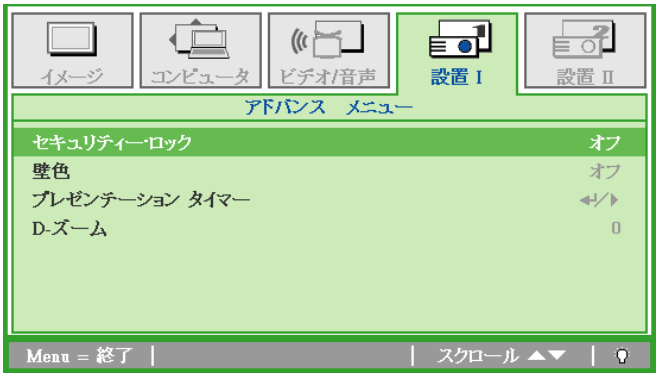
2. カーソル ◀▶ ボタンを押して**設置 I** メニューへ移動します。



3. カーソル ▲▼ ボタンを押して、**アドバンス メニュー**を選択します。



4. カーソル ▲▼ ボタンを押して、**セキュリティー・ロック** を選択します。

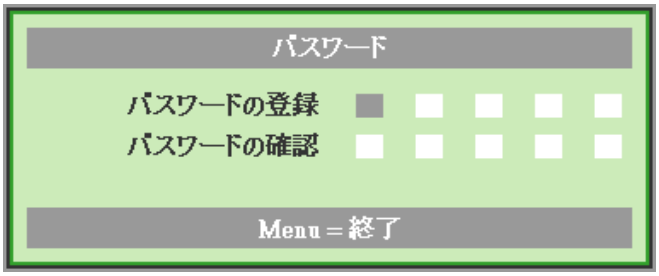


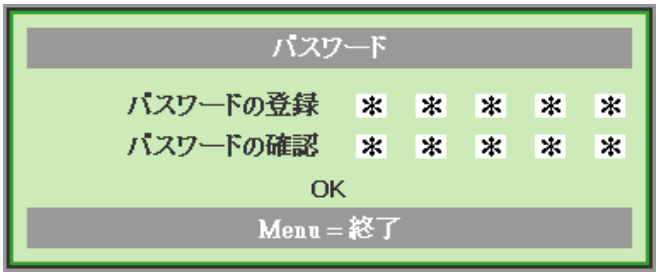
5. カーソル ◀▶ ボタンを押して、セキュリティー・ロック機能を有効にしたり無効にします。

パスワードダイアログボックスが自動的に表示されます。

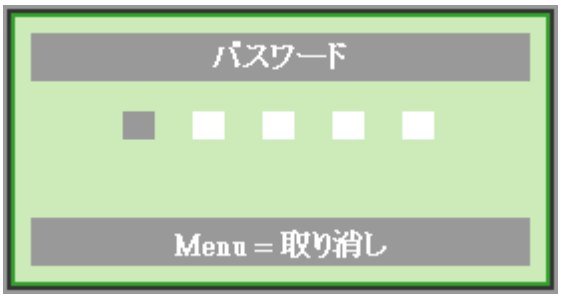
6. リモコンのカーソルボタン ▲▼◀▶ を使って、5 文字のパスワードを入力します。どんな組み合わせでも使うことができます（例えば、同じ矢印を 5 回使うなど）。

カーソルボタンを押してパスワードを設定します。**MENU** ボタン を押して ダイアログボックスを終了します。





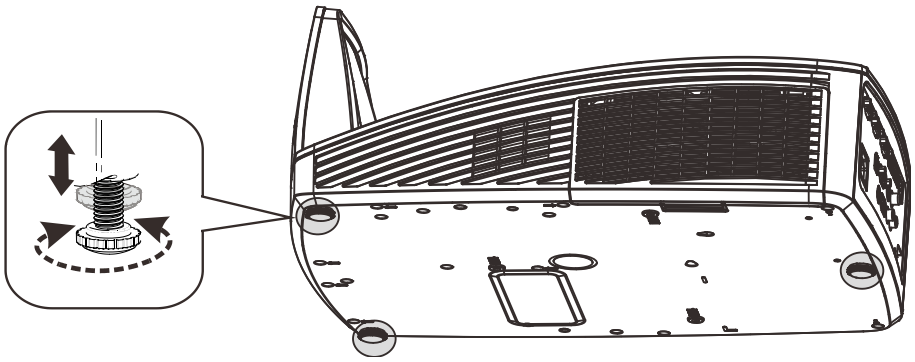
7. **セキュリティー・ロック**が有効な場合は、ユーザーが Power ボタンを押すと、パスワードの確認メニューが表示されます。ステップ 6 で設定したパスワードを入力します。パスワードを忘れた場合は、サービスセンターまでご連絡ください。



プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタをセットアップする際には、次の点にご注意ください:

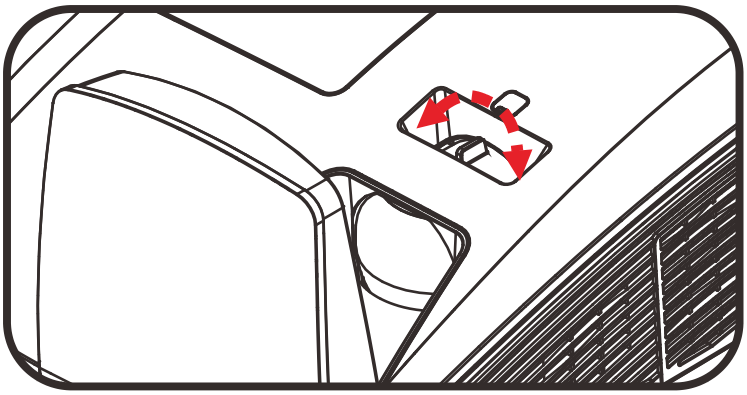
- *プロジェクタを置くテーブルまたはスタンドが水平で安定していることを確認します。*
- *プロジェクタは、スクリーンに対して垂直になるように置きます。*
- *ケーブルが安全な場所に配線されていることを確認します。ケーブルはつまづかないように配線します。*



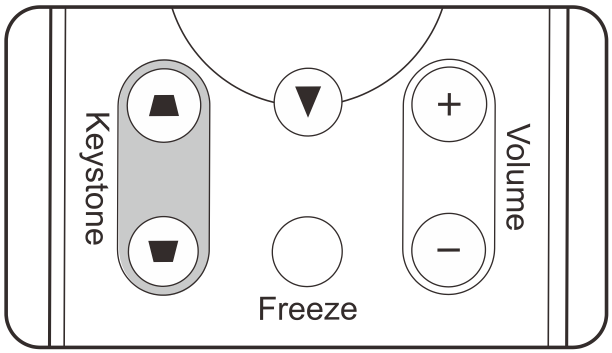
画像の角度を調整するには、傾き調整用アジャスタを左または右に回して、希望する角度にします。

フォーカスとキーストーンを調整する

1. **フォーカス**
フォーカスリングを使って、投映イメージを鮮明にします



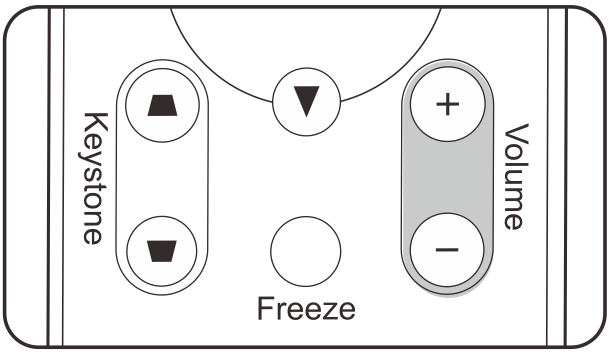
2. リモコンの **Keystone** ボタンを使って、イメージの台形歪み（上辺または下辺が長い）を補正します。



3. キーストーンコントロールが表示されます。

音量を調整する

1. リモコンの **Volume +/-**ボタンを押します。
音量コントロールが表示されます。



2. **Mute** ボタンを押して、音量をオフにします。(この機能はリモコンでのみ利用可能です)。

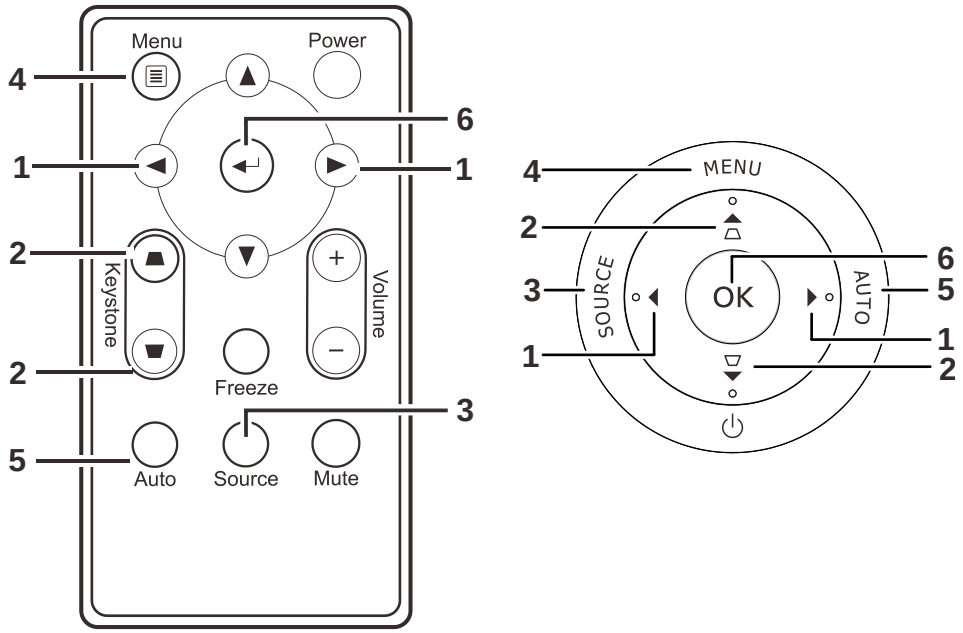
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー設定

OSD メニューコントロール

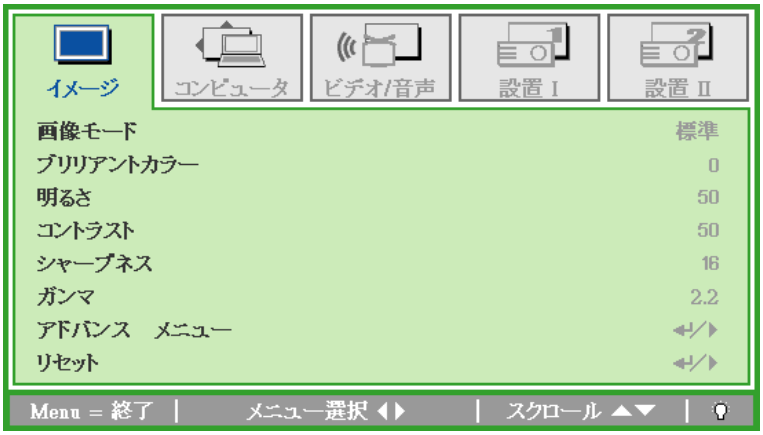
プロジェクタの OSD を使って、画像を調整したり、さまざまな設定を変更できます。

OSD を操作する

リモコンのカーソルボタンまたはプロジェクタのキーパッドを使って、OSD を操作し、変更することができます。



1. OSD を開くには、**Menu** ボタンを押します。
2. 5 つのメニューがあります。カーソル ◀▶ ボタンを押してメニュー内を移動します。
3. カーソル ▲▼ ボタンを押してメニュー内を上下に移動します。
4. ◀▶ を押して設定用の値を変更します。
5. **MENU ボタン**を押して、OSD を閉じたり、サブメニューを終了します。

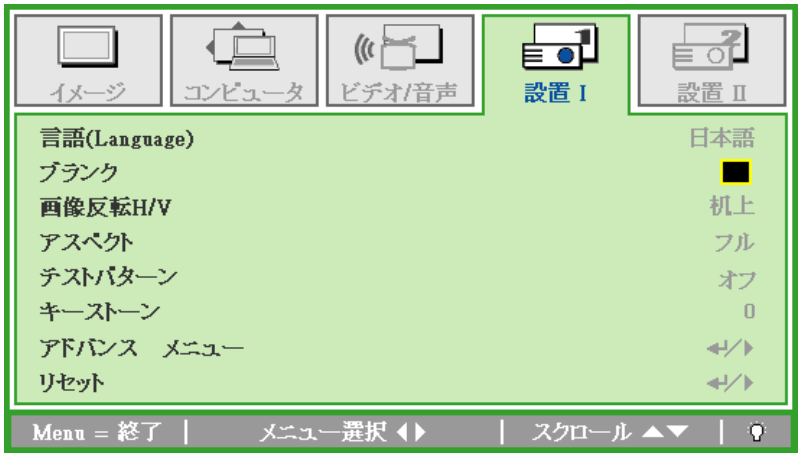


注記:
*ビデオソースによっては、OSD 内のすべての項目を使用できないことがあります。例えば **コンピュータ**メニューの**水平位置/垂直位置**項目を変更できるのは、PC に接続されている場合だけです。使用できない項目は灰色で表示され、アクセスできません。*

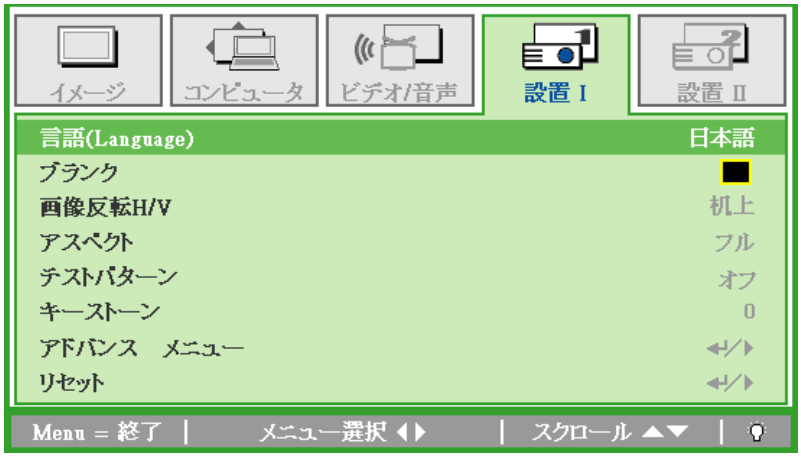
OSD 言語を設定する

次に進む前に、OSD で使用する言語を設定します。

1. **Menu** ボタンを押します。カーソル ◄► ボタンを押して、設置 I へ移動します。



2. **カーソル ▲▼ ボタンで言語を選択します。**



3. 希望する言語が表示されるまで、カーソル◄►ボタンを押します。
4. **Menu** ボタンを 2 回押して OSD を閉じます。

OSD メニューの概要

次の図を参照して、設定を見つけたり、設定用の範囲を確認します。

メインメニュー	サブメニュー			設定
イメージ	画像モード			標準、プレゼンテーション、sRGB、映画、ユーザ
	ブリリアントカラー			0~10
	明るさ			0~100
	コントラスト			0~100
	シャープネス			0~31
	ガンマ			2.0, 2.2, 2.4, 2.6, 2.8
	アドバンス　メニュー	カラースペース		オート、RGB、YUV
		色温度		ネイティブ、6500K、7500K、8200K
		カラーマネージャ	赤	色調、色彩度、ゲイン
			緑	色調、色彩度、ゲイン
			青	色調、色彩度、ゲイン
			シアン	色調、色彩度、ゲイン
			マゼンタ	色調、色彩度、ゲイン
			黄色	色調、色彩度、ゲイン
			白	赤、緑、青
	リセット			
コンピュータ	水平位置			-5~5
	垂直位置			-5~5
	トラッキング			0~31
	総ドット数			-5~5
	オート PC			
ビデオ/音声	ビデオ AGC			オフ、オン
	色彩度			0~100
	色相			0~100
	フィルムモード			オート、オフ
	ビデオオーバースキャン			オフ、オン
	Closed Captioning			オフ、オン
	音声	ボリューム		0~8
		消音		オフ、オン
	リセット			

メインメニュー	サブメニュー			設定
設置 I	言語(Language)			English, Français, Deutsch, Español, Português, 簡体中文, 繁體中文, Italiano, Svenska, Nederlands, Русский, Suomi, 한국어, العربية, Türkçe, 日本語, Dansk, Polski, Magyar, Čeština, ไทย
	ブランク			黒、赤、緑、青、白
	画像反転 H/V			机上、リア、天吊り、リア天吊り
	アスペクト			フル、4:3、16:9、 レター ボックス、ネイティブ
	テストパターン			オフ、クロスハッチ、 RGB Ramps、カラーバー、 ステアステップ、チェッカー、水平線、垂直線、斜線、 Horizontal Ramp、Vertical Ramp、 白、黒
	キーストーン			-40~40
	アドバンス　メニュー	セキュリティー・ロック		オフ、オン
		壁色		オフ、薄い黄色、ピンク、薄緑、 青、黒板
		プレゼンテーション タイマー	タイマー	オフ、オン
			プリセット時刻	1-60
			タイマーリセット	
		D-ズーム		-10~10
	リセット			

メインメニュー	サブメニュー			設定
設置 II	自動検索			オフ、オン
	オートパワーオフ(分)			0~180
	ダイレクトパワーオン			オフ、オン
	ファンモード			ノーマル、高地
	ランプモード			フルパワー、省電力
	アドバンス　メニュー	OSD メニュー設定	メニュー位置	中央、ダウン、アップ、左、右
			透過メニュー	0%, 25%, 50%, 75%, 100%
			メニュー表示	10~20
		周辺機器テスト	リモートコントロールテスト	
			色テスト	
			USB テスト	
		ランプ使用時間のリセット		
		節電モード		オン、オフ
		3D	3D	オフ, DLP-Link, IR
			3D 同期反転	オン、オフ
			3D 形式	フレームシーケンシャル、トップ/ボトム、サイドバイサイド、フレームパッキング (3D フレームパッキング HDMI ソースのみ)
		RS232		RS232、ネットワーク設定
		ネットワーク設定	ネットワーク状態	切断、接続
			DHCP	オフ、オン
			IP Address	0~255, 0~255, 0~255, 0~255
			サブネットマスク	0~255, 0~255, 0~255, 0~255
			ゲートウェイ	0~255, 0~255, 0~255, 0~255
			DNS	0~255, 0~255, 0~255, 0~255
			適用	取り消し、OK
	工場出荷状態リセット			
	状態	入力ソース		
		入力情報		
		ランプ使用時間（省電力、フルパワー）		
		ファームウェアバージョン		

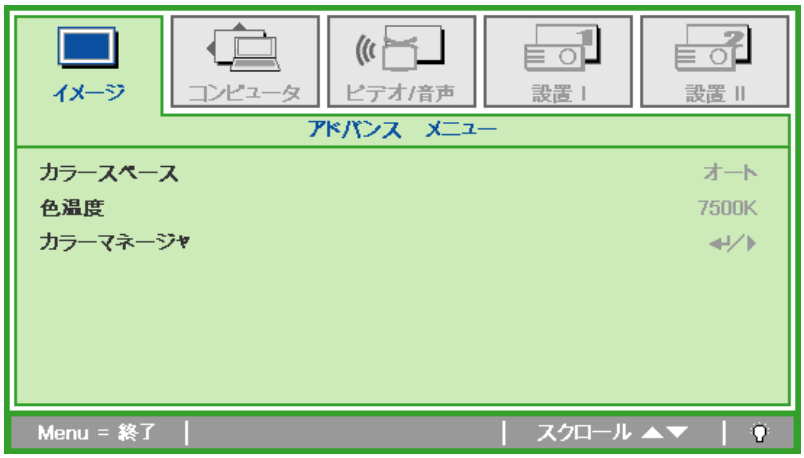
イメージメニュー

Menu ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して、**イメージ メニューへ移動します**。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**イメージ**メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して設定用の値を変更します。

項目	説明
画像モード	カーソル ◀▶ ボタンを押して、画像モードを設定します。
ブリリアントカラー	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ブリリアントカラーの値を調整します。
明るさ	カーソル ◀▶ ボタンを押してディスプレイの明るさを調整します。
コントラスト	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ディスプレイのコントラストを調整します。
シャープネス	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ディスプレイの鮮明度を調整します。
ガンマ	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ディスプレイのガンマ補正を調整します。
アドバンス メニュー	↵（Enter）/ ▶ を押して、アドバンスメニューを開きます。 *アドバンス機能*ページの「31 」を参照してください。
リセット	↵（Enter）/ ▶を押して、すべての設定をデフォルト値に戻します。

アドバンス機能

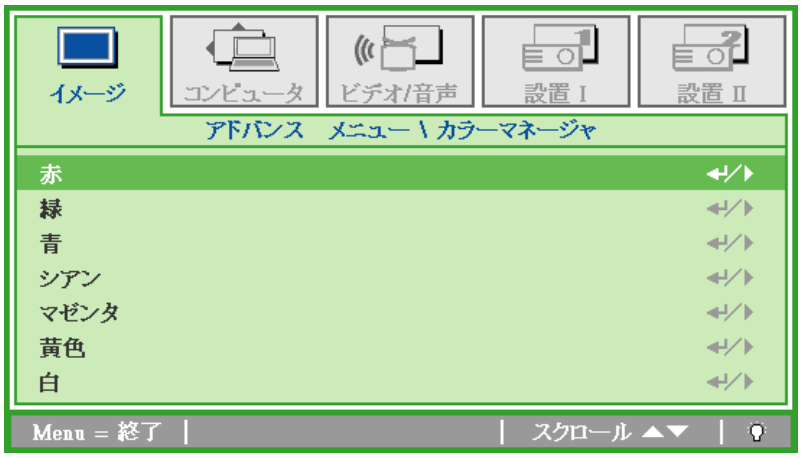
Menu ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶ を押して**イメージ**メニューへ移動します。▲▼ を押して、**アドバンス　メニュー**へ移動し、次に、**Enter** または ▶ を押します。▼▲ を押して、**アドバンス　メニュー**内を上下に移動します。



項目	説明
カラースペース	カーソル ◀▶ ボタンを押して、カラースペースを調整します。調整は全画像モードに反映されます。
色温度	カーソル ◀▶ ボタンを押して、色温度を調整します。
カラーマネージャ	↵（Enter）/ ▶ を押して、カラーマネージャメニューを開きます。 カラーマネージャについては*カラーマネージャ*ページ「32 」を参照してください。

カラーマネージャ

↵（Enter）/ ▶ を押して、**カラーマネージャ**サブメニューを開きます。



項目	説明
赤	赤のカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
緑	緑のカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
青	青のカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
シアン	シアンのカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
マゼンタ	マゼンタのカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
黄色	黄色のカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
白	白のカラーマネージャを開きます。 カーソル ◀▶ ボタンを押して、赤、緑、青を調整します。

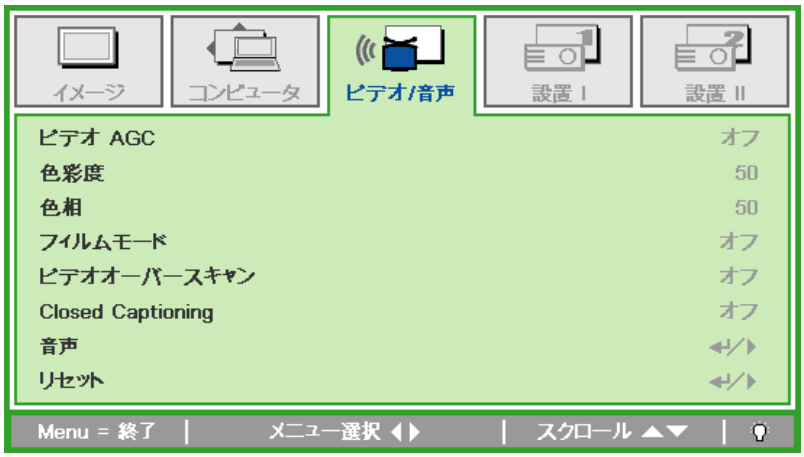
コンピュータメニュー

Menu ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して**コンピュータ**メニューへ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押してコンピュータメニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して設定用の値を変更します。

項目	説明
水平位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ディスプレイ位置を左または右へ調整します。
垂直位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ディスプレイ位置を上または下へ調整します。
トラッキング	カーソル ◀▶ ボタンを押して、A/D サンプリングクロックを調整します。
総ドット数	カーソル ◀▶ ボタンを押して、A/D サンプリングドットを調整します。
オート PC	↵(Enter)/ ▶を押して、位相、トラッキング、サイズと位置を自動調整します。

ビデオ/音声メニュー

Menu ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して**ビデオ/音声メニュー**へ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**ビデオ/音声メニュー**内を上下に移動します。◀▶ を押して設定用の値を変更します。

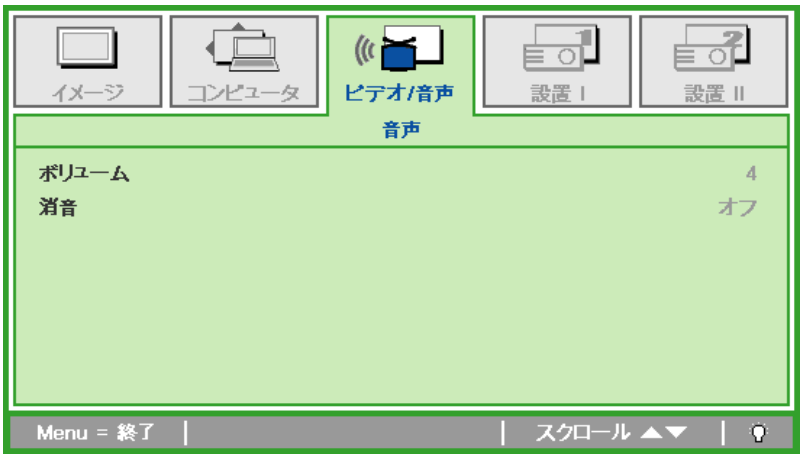


項目	説明
ビデオ AGC	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ビデオソース用の自動ゲインコントロールを有効にしたり無効にします。
色彩度	カーソル ◀▶ ボタンを押して、色彩度を調整します。
色相	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ビデオ色相を調整します。
フィルムモード	カーソル ◀▶ ボタンを押してフィルムモードを選択します。
ビデオオーバースキャン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ビデオオーバースキャンを有効にしたり無効にします。
Closed Captioning	カーソル ◀▶ ボタンを押して、Closed Captioning を有効にしたり無効にします。
音声	↵（Enter）/ ▶を押して、オーディオメニューを開きます。 *音声*ページの「35 」を参照してください。
リセット	↵（Enter）/ ▶を押して、すべての設定をデフォルト値に戻します。

注記:
インターレースビデオを再生する際には、ビデオがジャギングすることがあります。この問題を解決するには、ビデオと音声メニューを開いて、フィルムモード機能を調整します。

音声

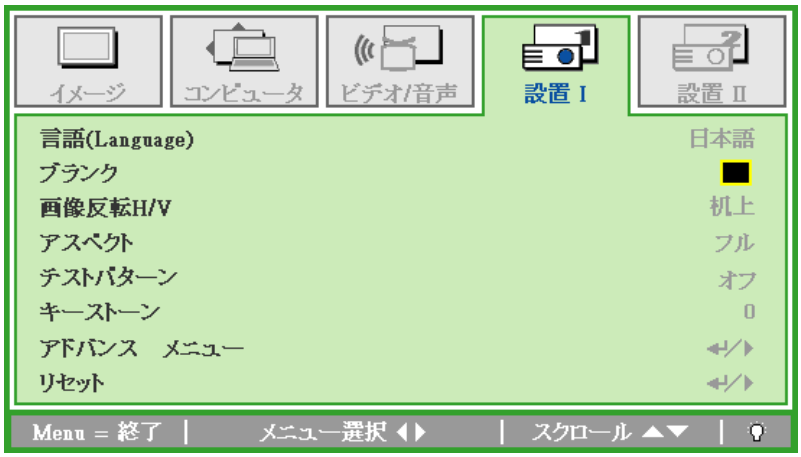
↵(Enter) / ▶ を押して**音声**サブメニューを開きます。



項目	説明
ボリューム	カーソル ◀▶ ボタンを押してオーディオ音量に移行し、調整します。
消音	カーソル ◀▶ ボタンを押して、スピーカーに移行し、オンにしたりオフにします。

設置 I メニュー

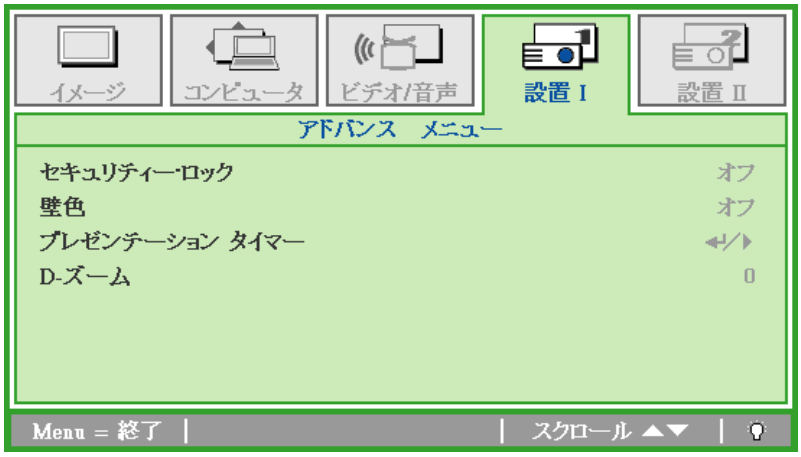
MENU ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◄► ボタンを押して、**設置 I** メニューへ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、**設置 I** メニュー内を上下に移動します。◄► を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
言語(Language)	カーソル ◄► ボタンを押して、さまざまな言語メニューから選択します。
ブランク	カーソル ◄► ボタンを押して、画面をブランクにする際に使う色を選択します。
画像反転 H/V	カーソル ◄► ボタンを押して、4 つの画像反転 H/V 方法から選択します:
アスペクト	カーソル ◄► ボタンを押して、ビデオの縦横比を調整します。
テストパターン	カーソル ◄► ボタンを押して、プロジェクタ設置確認用の異なるテストパターンを選択します。
キーストーン	カーソル ◄► ボタンを押して、画像の台形歪みを調整します。
アドバンス　メニュー	↵(Enter) / ► を押して、アドバンスメニューを開きます。 *アドバンス機能*ページの「37」を参照してください。
リセット	↵(Enter) / ►を押して、すべての設定をデフォルト値に戻します(言語を除く)。

アドバンス機能

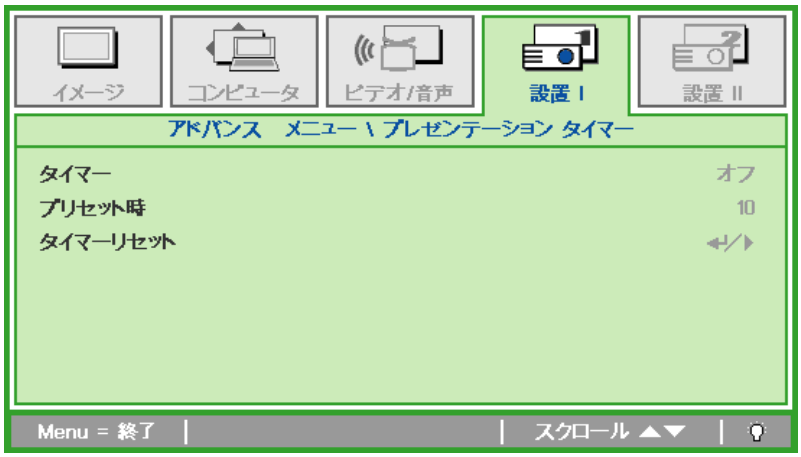
MENU ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶ を押して**設置 I** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**アドバンス　メニュー**へ移動し、次に、**Enter** または ▶ を押します。▲▼ を押して、**アドバンス　メニュー**内を上下に移動します。◀▶ を押して設定用の値を変更します。



項目	説明
セキュリティー･ロック	カーソル ◀▶ ボタンを押して、セキュリティー･ロック機能を有効にしたり無効にします。
壁色	カーソル ◀▶ ボタンを押して、壁色機能を有効にしたり無効にします。
プレゼンテーション タイマー	↵(Enter) / ▶ を押して、プレゼンテーションタイマーメニューに移動します。 下の *プレゼンテーション タイマー* を参照してください。
D-ズーム	カーソル ◀▶ ボタンを押して、D-ズームメニューを調整します。

プレゼンテーション タイマー

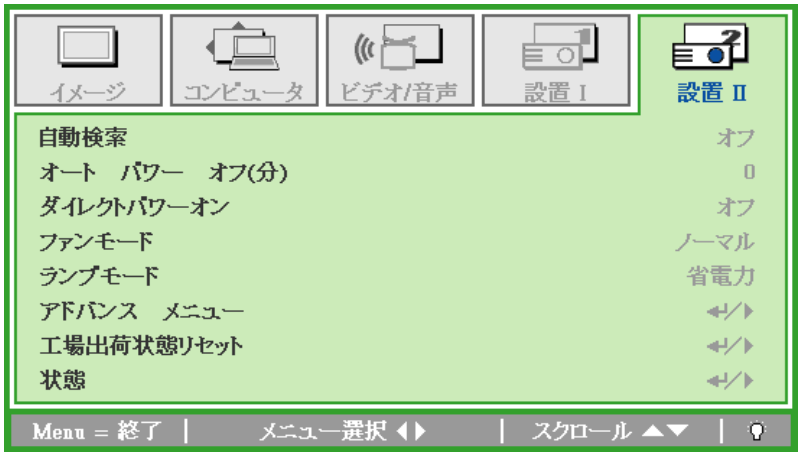
プレゼンテーション タイマー機能を使うと、画面にプレゼンテーション時間を示してプレゼンテーションを行うときに時間管理を効率的に行うことができます。



項目	説明
タイマー	カーソル ◀▶ ボタンを押して、プレゼンテーション タイマーを有効にしたり無効にします。実際の時間とずれることがあります。
プリセット時	カーソル ◀▶ ボタンを押して、プリセット時刻を選択します (1 ～ 60 分)
タイマーリセット	↵(Enter) / ▶ を押して、タイマー設定をリセットします。

設置 II メニュー

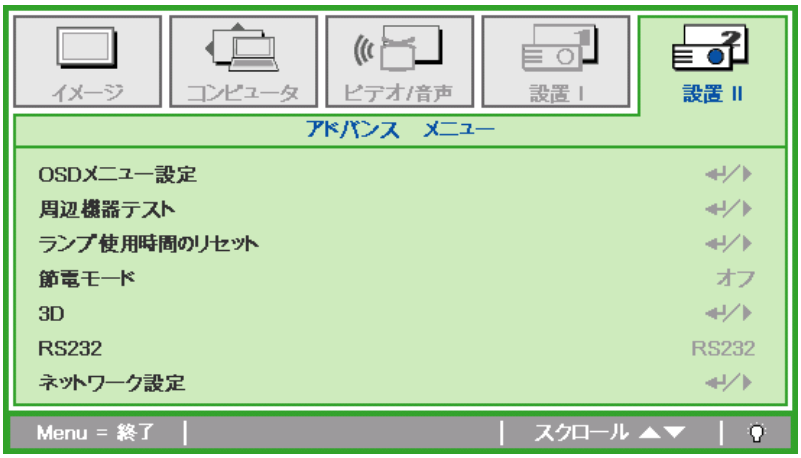
MENU ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して**設置 II** メニューへ移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、設置 II メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
自動検索	カーソル ◀▶ ボタンを押して、自動ソース検出を有効にしたり無効にします。無効時に再起動で異なる入力ソースが表示される場合があります。
オート　パワー　オフ(分)	カーソル ◀▶ ボタンを押して、信号がない場合のランプの自動シャットダウンを有効にしたり無効にします。
ダイレクトパワーオン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、AC 電源が供給されている場合の自動電源オン機能を有効にしたり無効にします。
ファンモード	カーソル ◀▶ ボタンを押して、標準ファン速度と高速ファン速度を切り替えます。 **注記:** 海抜 1,500 メートル（4,921 フィート）以上である時に、高地の選択してください
ランプモード	カーソル◀▶ボタンを押して、フルパワーを選択したり、または、省電力を選択してランプの消耗を低減します。
アドバンス　メニュー	↵（Enter）/ ▶ を押して、アドバンスメニューを開きます。 *アドバンス機能*ページの「39」を参照してください。
工場出荷状態リセット	↵（Enter）/ ▶ を押して、工場出荷時の値にリセットします。
状態	↵（Enter）/ ▶ を押して状態メニューを開きます。 詳細情報については、*状態*ページの「47」を参照してください。

アドバンス機能

MENU ボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶ を押して**設置 II** メニューへ移動します。▲▼ を押して、**アドバンス　メニュー**へ移動し、次に、**Enter** または ▶ を押します。▲▼ を押して、**アドバンス　メニュー**内を上下に移動します。◀▶ を押して設定用の値を変更します。

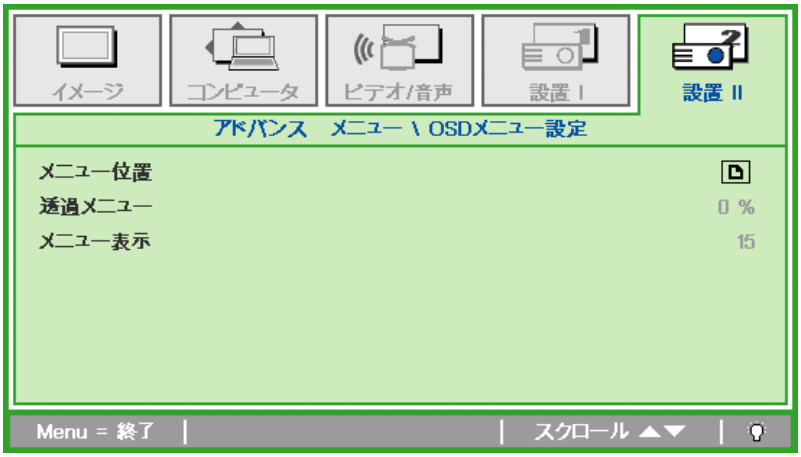


項目	説明
OSD メニュー設定	↵(Enter) / ▶ を押して、OSD 設定メニューを開きます。 詳細情報については、*OSD メニュー設定* ページの「40」を参照してください。
周辺機器テスト	↵(Enter) / ▶ を押して、周辺機器テストメニューを開きます。 詳細情報については、*周辺機器テスト*ページの「40」を参照してください。
ランプ使用時間のリセット	ランプを交換した後で、この項目をリセットします。 詳細情報については、*ランプ使用時間をリセットする*ページの「50」を参照してください。
節電モード	カーソル ◀▶ を押して、節電モードをオンにしたりオフにします。
3D	↵(Enter) / ▶ を押して、3D メニューを開きます。 詳細情報については、*3D* ページの「41」を参照してください。
RS232	◀▶ を押して、プロジェクタの接続方法に従って、RS232(リモート)またはネットワーク(LAN)モードを選択します。
ネットワーク設定	↵(Enter) / ▶ を押して、ネットワークメニューを開きます。 詳細情報については、*ネットワーク設定* ページの「42」を参照してください。

注記:
3D 機能を使用するには、まず、3D ディスクメニューの DVD 機器にある 3D 設定で、映画の再生を有効にします。

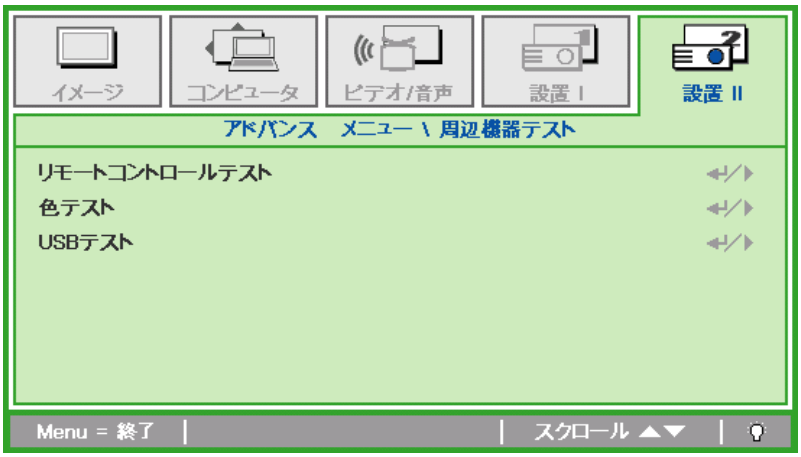
ネットワーク機能をお楽しみいただくには、節電モードをオフに、RS232 をネットワークに設定してください。

OSD メニュー設定



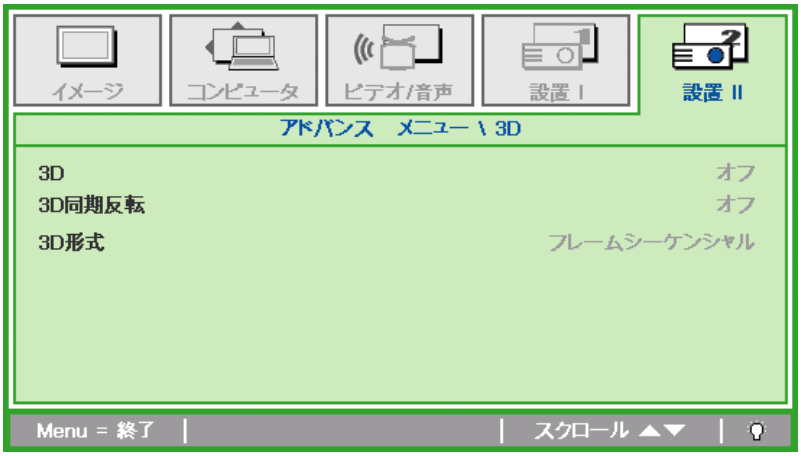
項目	説明
メニュー位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して OSD の位置を選択します。
透過メニュー	カーソル ◀▶ ボタンを押して、OSD の背景の透明度を選択します。
メニュー表示	カーソル ◀▶ ボタンを押して、OSD タイムアウト時間を選択します。

周辺機器テスト



項目	説明
リモートコントロールテスト	↵(Enter) / ▶ を押して、赤外線リモコンをテストして診断します。
色テスト	↵(Enter) / ▶ を押して、画面上の色を選択します。
USB テスト	↵(Enter) / ▶ を押して、接続した PC との USB 接続をテストします。

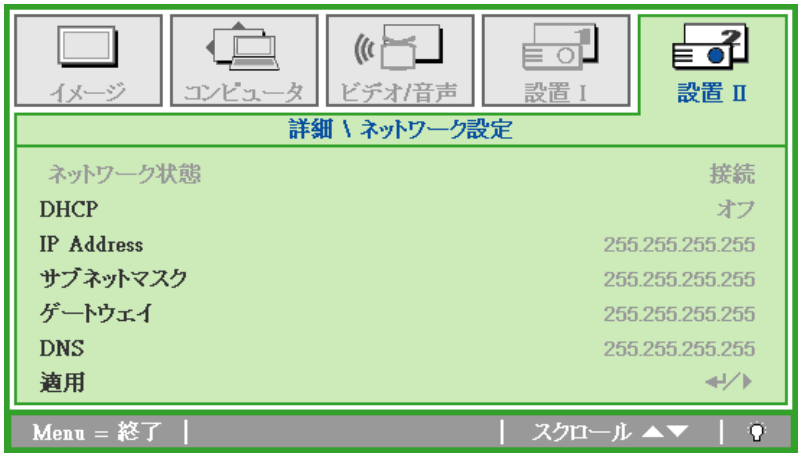
3D



項目	説明
3D	カーソル ◀▶ ボタンを押して、オフ、DLP-Link または IR を選択します。
3D 同期反転	カーソル ◀▶ を押して、3D 同期反転をオンにしたりオフにします。
3D 形式	カーソル ◀▶ を押して、3D フォーマットを切り換えます。

注記:
3D 表示時は D-ズーム設定範囲が変わります。

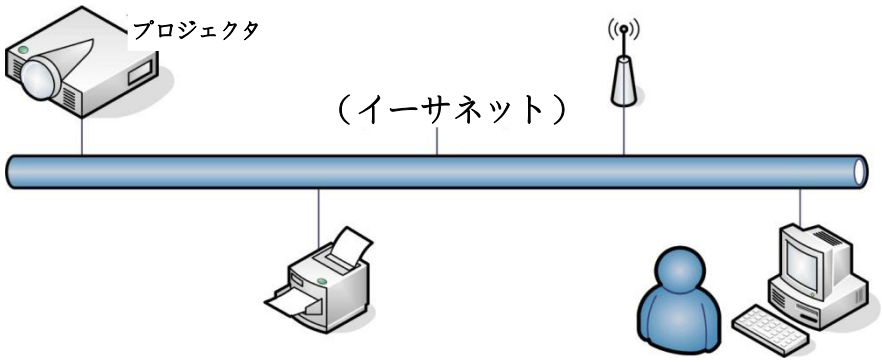
ネットワーク設定



項目	説明
ネットワーク状態	ネットワークの接続状態を表示します。
DHCP	カーソル ◀▶ を押して、DHCP をオンまたはオフにします。 **注記:** DHCP オフを選択する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および、DNS のフィールドに入力します。DHCP をオンに切り換えた時、OSD を再度開けば正しく表示されます。
IP Address	DHCP がオフの場合は、有効な IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	DHCP がオフの場合は、有効なサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	DHCP がオフの場合は、有効なゲートウェイアドレスを入力します。
DNS	DHCP がオフの場合は、有効な DNS 名を入力します。
適用	↵ (Enter) / ▶ を押して設定を確定します。

シンプルで容易な操作のために、プロジェクタには、拡張ネットワーキング機能およびリモート管理機能が装備されています。

ネットワーク経由のプロジェクタの LAN/RJ45 機能を使って、電源オン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定を遠隔管理できます。また、ビデオソース、サウンド消音、などができます。



プロジェクタは、プロジェクタの LAN/RJ45 ポートに接続された PC（ラップトップ）または他の外部デバイスにより制御することができます。

有線 LAN のターミナル機能

有線 LAN を介する PC（またはラップトップ）からのプロジェクタのリモート制御またはリモート監視も可能です。Crestron/AMX（デバイス検出）/Extron 制御ボックスとの互換性により、ネットワーク上で複数のプロジェクタ管理が可能になるだけではなく、PC（またはラップトップ）のブラウザ画面上の制御パネルからの管理が可能になります。

* Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。

* Extron は、米国 Extron Electronics, Inc. の登録商標です。

* AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。

サポートする外部デバイス

このプロジェクタは、Crestron Electronics 製コントローラおよび関連ソフトウェア（例 RoomView ®）の特定のコマンドをサポートします。

http://www.crestron.com/

このプロジェクタは、AMX（デバイス検出）をサポートします。

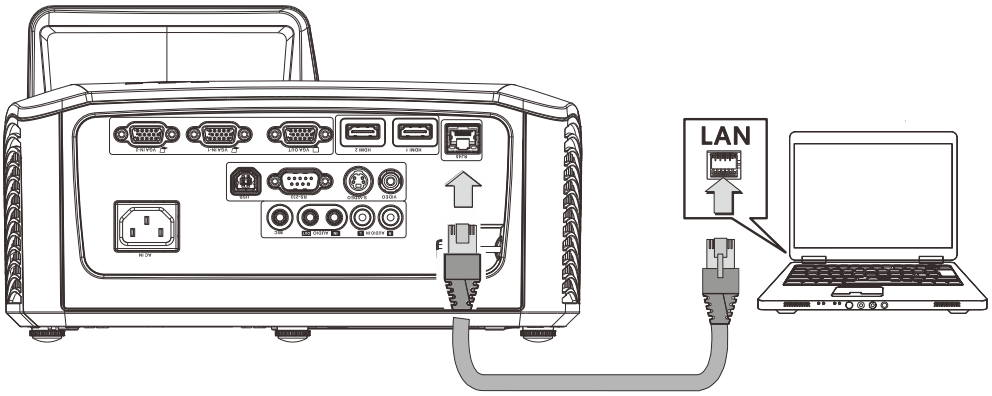
http://www.amx.com/

このプロジェクタは、参考のために Extron デバイスをサポートするために準拠しています。

http://www.extron.com/

LAN RJ45

1. RJ45 ケーブルを、プロジェクタと PC の RJ45 ポートに接続します。



2. PC 上で、**スタート** → **コントロール パネル** → **ネットワークおよびインターネット**の順に選択します。

3. **ローカルエリア接続** を右クリックして、**プロパティ**を選択します。

4. **プロパティ**ウィンドウで、**ネットワーク**タブを選択し、次に、**インターネットプロトコル（TCP/IP）**を選択します。
5. **プロパティ**をクリックします。

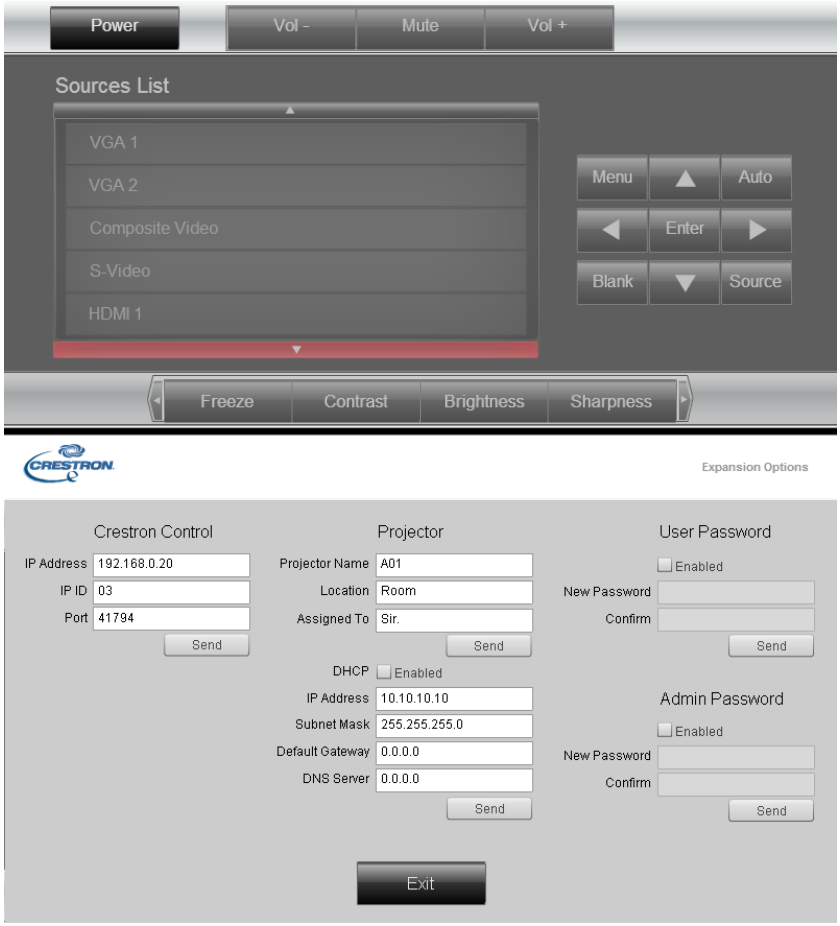
6. **次の IP アドレスを使用する**をクリックし、IP アドレスとサブネットマスクのフィールドに入力して、次に、**OK** をクリックします。

7. プロジェクタの **Menu（メニュー）**ボタンを押します。
8. **設置 II** → **アドバンス メニュー** → **ネットワーク設定**の順に選択します
9. **ネットワーク設定**を開いたら、次を入力します:
   - DHCP:オフ
   - IP Address: 10. 10. 10. 10
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - DNS サーバー: 0.0.0.0
10. OK / ► を押して設定を確定します。.
11. Web ブラウザ（Adobe Flash Player 9.0 以上を使用する Microsoft Internet Explorer など）を開きます。

12. アドレスバーに IP アドレスを入力します: 10. 10. 10. 10.
13. OK / ► を押します。

    プロジェクタがリモート管理用にセットアップされます。次の図のように、LAN/RJ45 機能が表示されます。

    ツールタブにおける入力文字列に対するネットワーク Web ページに基づく、入力長さの制限を以下の一覧に示します (「スペース」およびその他の句読点記号が含まれます):



CATEGORY	ITEM	INPUT-LENGTH
Crestron Control	IP Address	15
	IP ID	3
	Port	5
Projector	Projector Name	10
	Location	10
	Assigned To	10
Network Configuration	DHCP (Enabled)	(N/A)
	IP Address	15
	Subnet Mask	15
	Default Gateway	15
	DNS Server	15
User Password	Enabled	(N/A)
	New Password	10
	Confirm	10
Admin Password	Enabled	(N/A)
	New Password	10
	Confirm	10

詳細情報については、http://www.crestron.com/ をご覧ください。

RS232 by Telnet 機能

プロジェクタは専用の RS232 コマンド制御による「ハイパー端末」通信で RS232 インターフェースに接続されているだけでなく、代替の RS232 コマンド制御方法があるため、LAN/RJ45 インターフェースの場合は「RS232 by TELNET」と呼ばれます。

「RS232 by TELNET」用のクイックスタートガイド

プロジェクタの OSD で IPAddress をチェックし、取得します。

PC がプロジェクタの Web ページにアクセスできることを確認します。

「Telnet」機能が PC によって除去されている場合、「Windows Firewall」設定が無効にされていることを確認します。

スタート => すべてのプログラム => アクセサリ => コマンドプロンプト

コマンドフォーマットを以下のように入力します:

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 (「Enter」キーを押す)

(**ttt.xxx.yyy.zzz**:プロジェクタの IP アドレス)

Telnet-Connection の準備ができて、ユーザーが RS232 コマンドを入力できるようになった場合、「Enter」キーを押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

Windows VISTA / 7 で TELNET を有効化する方法

Windows VISTA のデフォルトのインストールでは、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windowsの機能の有効化または無効化」によってその機能を有効にすることができます。

Windows VISTA で「コントロールパネル」を開きます

「プログラム」を開きます

「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択して開きます

「Telnet Client」オプションにチェックマークを入れて、「OK」ボタンを押します。

「RS232 by TELNET」のスペックシート :

1. Telnet:TCP
2. Telnet ポート:23
3. Telnet ユーティリティ:Windows “TELNET.exe” （コンソールモード）
4. 通常の RS232 by TELNET コントロール用の接続:TELNET 接続準備ができたら Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます
5. Telnet-Control の場合の制限 1:1 台のプロジェクタの Telnet-Control に、接続は 1 つしかありません

   Telnet-Control の場合の制限 2:Telnet-Control アプリケーションの場合、連続できるネットワークペイロードは 50 バイト未満です。

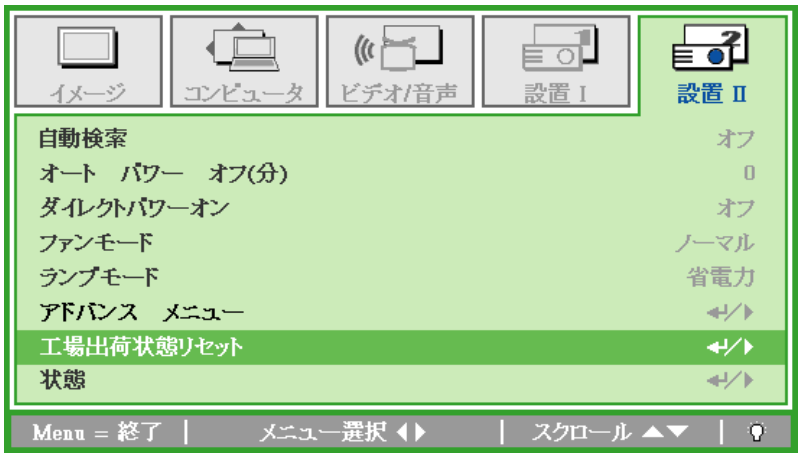
   Telnet-Control の場合の制限 3:Telnet-Control の場合、1 つの完全な RS232 コマンドは 26 バイト未満です

   Telnet-Control の場合の制限 4:次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) 以上にする必要があります。

   （*Windows 組み込み「TELNET.exe」ユーティリティでは、「Enter」キーを押すと「CR」と「LF」コードが有効になります。）

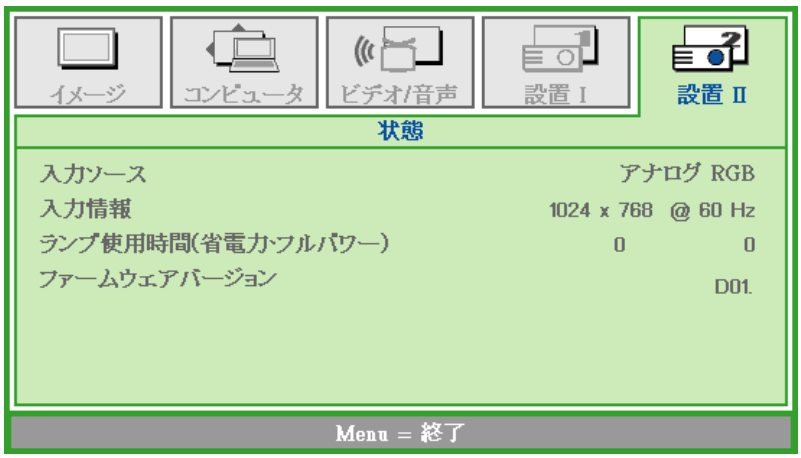
工場出荷状態リセット

カーソル ▲▼ ボタンを押して、**設置 II** メニュー内を上下に移動します。**工場出荷状態リセット**サブメニューを選択し、↵(Enter) / ► を押して、すべてのメニュー項目を工場出荷時のデフォルト値に戻します(ただし、言語とセキュリティー・ロックは除きます)。



状態

カーソル ▲▼ ボタンを押して、**設置 II** メニュー内を上下に移動します。
状態を選択し、OK / ► を押して**状態**サブメニューを開きます。

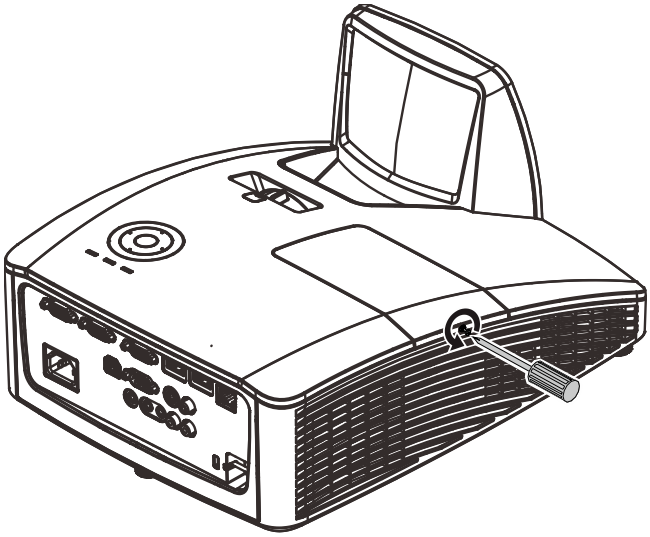


項目	説明
入力ソース	有効にしたソースを表示します。
入力情報	ソースの解像度/ビデオ情報を表示します。
ランプ使用時間 (省電力、フルパワー)	ランプ使用時間についての情報を表示します。
ファームウェアバージョン	システムのファームウェアバージョンを表示します。

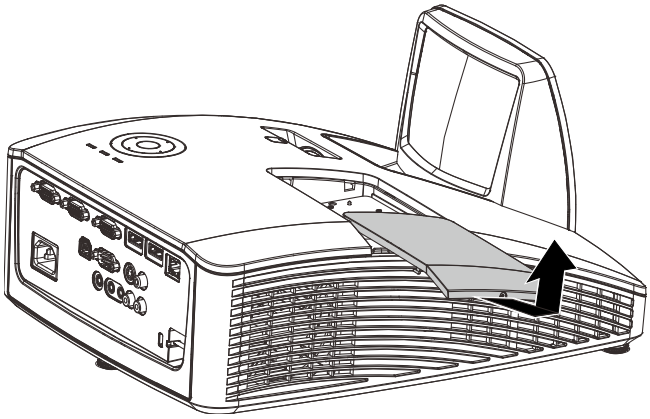
ランプを交換する

ランプは販売店でご注文いただけます。品番 LV-LP41

1. ランプ収納部のカバーの 1 本のねじを取り外します。



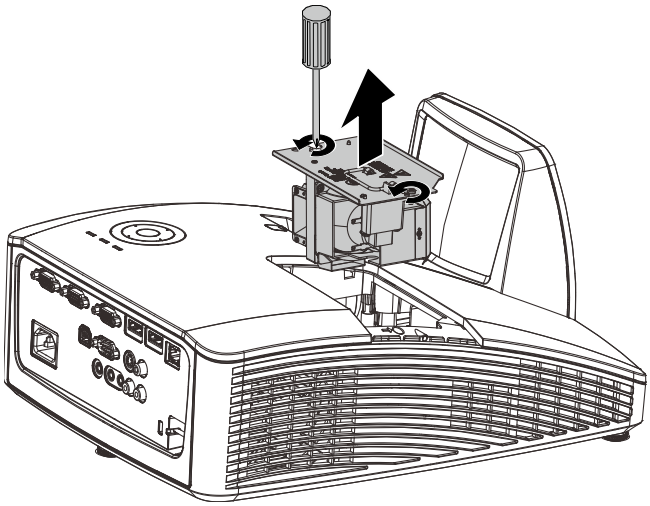
2. ランプ収納部のカバーを取り外します。



3. ランプの 2 本のねじを緩めます。

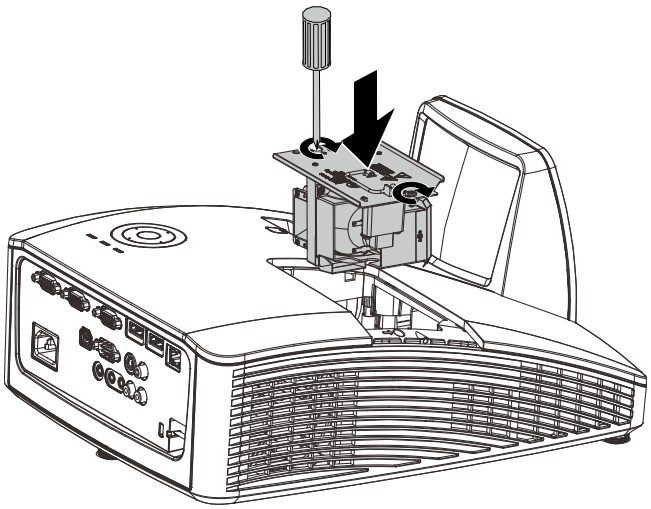
4. ハンドルを持ち上げます。

5. ハンドルを強く引いて、ランプを取り外します。



6. ステップ 1 ～ 5 の逆の手順で、新しいランプを取り付けます。

注記: ねじを締める前に、ランプが定位置にしっかり固定されており、ランプコネクタが正しく接続していることを確認します。

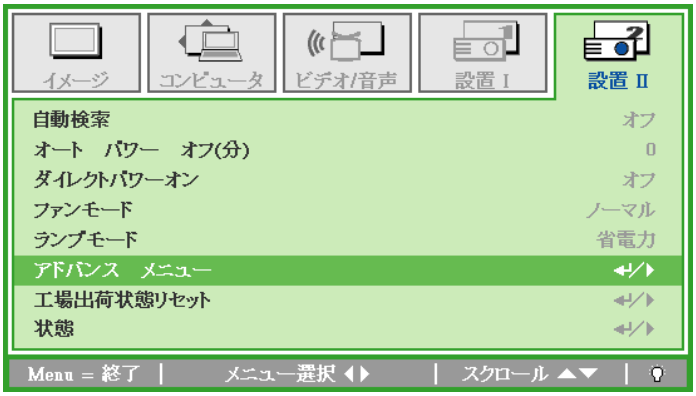


ランプ使用時間をリセットする

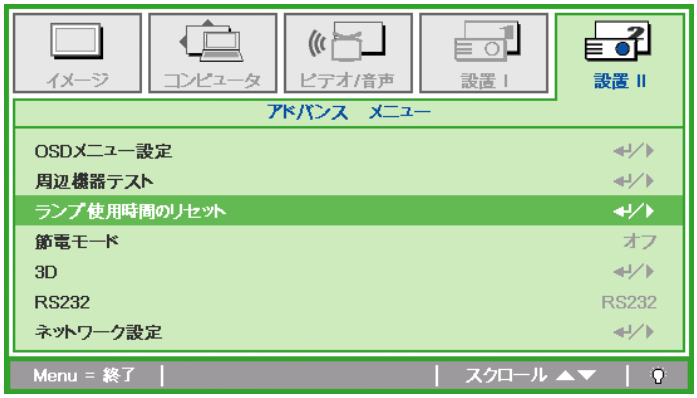
ランプを交換したら、ランプ使用時間カウンタをゼロに戻します。次の手順でリセットします。

1. **Menu** ボタンを押して OSD メニューを開きます。

2. カーソル ◄► ボタンを押して**設置 II** メニューへ移動します。カーソル ボタンを押して**アドバンス　メニュー**へ移動します。



3. カーソル ▼▲ ボタンを押して、**ランプ使用時間のリセット**へ移動します。

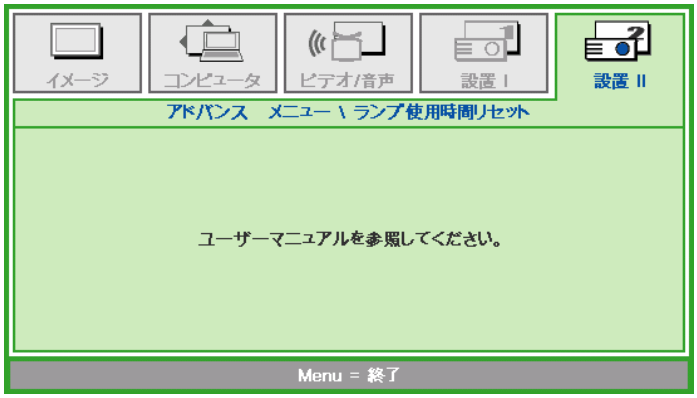


4. カーソル ► または OK ボタンを押します。

メッセージ画面が表示されます。

5. ▼▲◄► ボタンを押して、ランプ使用時間をリセットします。

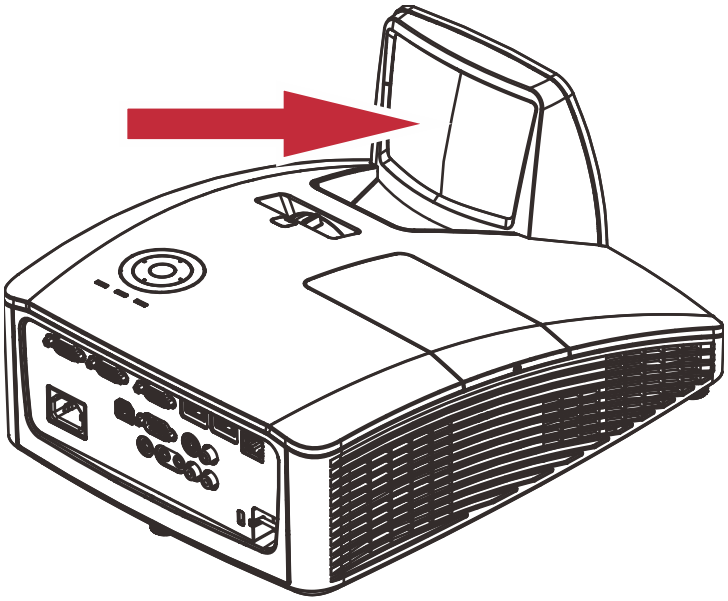
6. **Menu** ボタンを押して設置 II へ戻ります。



プロジェクタを清掃する

プロジェクタが問題なく動作するように、プロジェクタを清掃して埃や汚れを取り除きます。

プロジェクタの鏡を清掃する



注意:

1. *必ずプロジェクタの電源をオフにし、掃除に少なくとも 30 分間冷却します。*

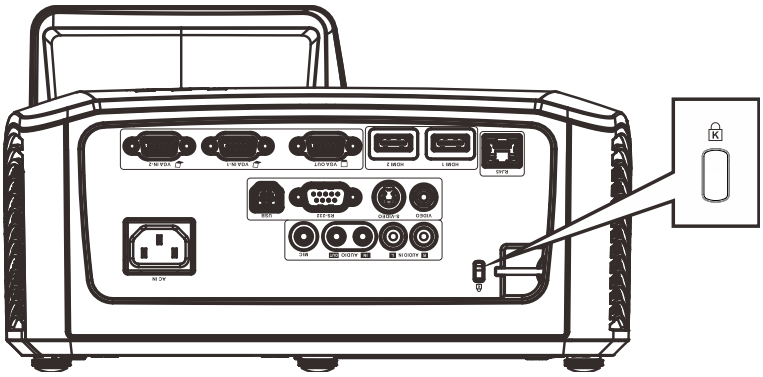
2. *プロジェクタの鏡またはレンズには手で直接絶対に触れないでください。*

3. *研磨剤入り洗剤、溶剤または他の強い化学洗剤を使用しないでください。*

物理的ロックを使用する

Kensington™ ロックを使用する

プロジェクタの盗難を防止するために、ケンジントンスロットとセキュリティケーブルを使って、プロジェクタを机などに固定できます。

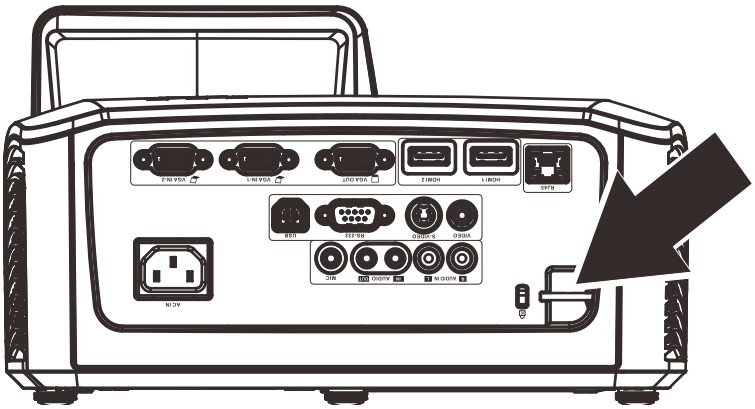


注記:
適切なケンジントンセキュリティケーブルについては、販売店までお問い合わせください。.

セキュリティバーを使用する

パスワード保護機能とケンジントンロックに加えて、セキュリティバーを使って、プロジェクタの盗難を防止します。

下の図を参照してください。



トラブルシューティングについてのアドバイス

問題を迅速に解決するために、問題別のセクションで指定されている手順に従います。

問題を特定して、故障していない部品を不必要に交換しないようにします。
例えば、電池を交換しても問題が解決されない場合は、元の電池を取り付け直して、次の手順に進みます。

問題を解決するために取った手順を書き留めます。手順を書き留めておくと、サービス担当者に説明する際に役立つことがあります。

LED メッセージ

メッセージ	POWER LED 緑	LAMP LED オレンジ	TEMP LED 赤
電源オン	点灯	オフ	オフ
電源オフ	点灯	オフ	オフ
冷却	点滅	オフ	オフ
過熱	オフ	オフ	点灯
温度ブレークセンサーエラー	4 回点滅	オフ	オフ
ランプエラー	オフ	点灯	オフ
ファン 1	6 回点滅	1 回点滅	オフ
ファン 2	6 回点滅	2 回点滅	オフ
ファン 3	6 回点滅	3 回点滅	オフ
ファン 4	6 回点滅	4 回点滅	オフ
ランプドアが開いています	7 回点滅	オフ	オフ
DMD エラー	8 回点滅	オフ	オフ
カラーホイールエラー	9 回点滅	オフ	オフ

エラーが発生した場合は、電源コードの接続を外して、約 1 分待ってから、プロジェクタを再起動します。LED が点滅する場合、または、上記の表に記載されていない他の状況が発生した場合は、サービスセンターに問い合わせてください。

画像の問題

問題:スクリーンに画像が表示されない

1. ノートブックまたはデスクトップ PC 上の設定を確認します。
2. 正しい順序で、すべての装置の電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直します。

問題:画像がぼやける

1. プロジェクタの**フォーカス**を調整します。
2. Autoボタンを押します。
3. プロジェクタからスクリーンまでの距離が、指定された範囲以内であることを確認します。
4. プロジェクタレンズが汚れていないことを確認します。

問題:画像の上辺または下辺が長い(台形歪み)

1. プロジェクタは、スクリーンに対してできるだけ垂直になるように置きます。
2. リモコンまたはプロジェクタ上の **Keystone**(**キーストーン**)ボタンを使って、台形歪みを補正します。

問題:画像が反転する

OSD の**設置 I** メニュー上の**画像反転H/V** 設定を確認します。

問題:画像に線が入る

1. OSD の**コンピュータ**メニュー上で**周波数**および**総ドット数**設定をデフォルト設定にします。
2. 接続した PC のビデオカードが問題の原因でないことを確認するために、他のコンピュータに接続します。

問題:コントラストが出ない

OSD の **イメージ** メニューで **コントラスト** 設定を調整します。

問題: 投映画像の色がソース画像と一致しない

1. OSD の**イメージ**メニューで**ガンマ**設定を調整します。
2. OSD の**イメージ->アドバンス　メニュー**で**色温度**設定を調整します。

ランプの問題

問題: プロジェクタから光が出ない

1. 電源コードがしっかり接続されていることを確認します。
2. 電源に他の電気機器を接続して、電源が正常であることを確認します。
3. 正しい順序でプロジェクタを再起動して、POWER LED がオンにすることを確認します。
4. 最近ランプを交換した場合は、ランプの接続をもう一度確認します。
5. ランプを交換します。
6. 古いランプをプロジェクタに取り付け直して、プロジェクタを点検修理に出します。

問題: ランプがオフになる

1. 電力サージがあるとランプがオフになることがあります。電源コードを接続し直します。POWER LED がオンの場合は、電源ボタンを押します。
2. ランプを交換します。
3. 古いランプをプロジェクタに取り付け直して、プロジェクタを点検修理に出します。

リモコンの問題

問題: プロジェクタがリモコンに反応しない

1. リモコンをプロジェクタの赤外線受光部に向けます。
2. リモコンと赤外線受光部の間に障害物がないことを確認します。
3. 室内の蛍光灯を消します。
4. 電池の極性を確認します。
5. 電池を交換します。
6. 周辺にあるその他の赤外線対応機器をオフにします。
7. リモコンを点検修理に出します。

音声の問題

問題: 音声が聞こえない

1. リモコンの音量を調整します。
2. オーディオソースの音量を調整します。
3. オーディオケーブルの接続を確認します。
4. その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
5. プロジェクタを点検修理に出します。

問題: 音声が歪む

1. オーディオケーブルの接続を確認します。
2. その他のスピーカーを使って、ソースオーディオの出力をテストします。
3. プロジェクタを点検修理に出します。

プロジェクタを点検修理に出す

ご自分で問題を解決できない場合は、プロジェクタを点検修理に出します。プロジェクタを元の段ボール箱に梱包します。問題の説明と、問題を解決するために試みたことを記載したチェックリストを同封してください。これらの情報は、サービス担当者の役に立つことがあります。点検修理のために、プロジェクタをご購入いただいた所へお戻しください。

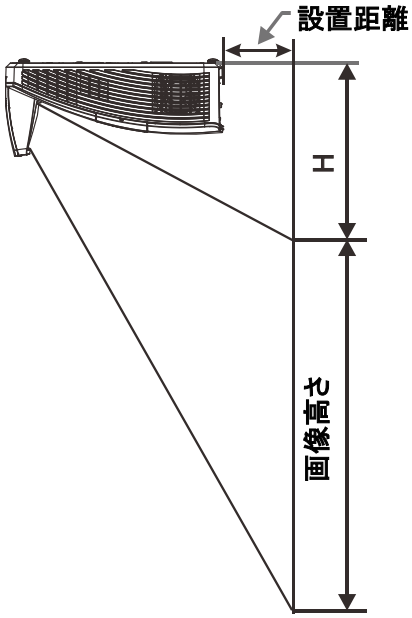
製品の仕様

型名		LV-WX300UST / LV-WX300USTi
表示方式		1 chip DLP 方式
光学方式		色抽出順次表示方式
表示素子	形式	DMD x1
	サイズ / アスペクト比	0.65 型 / 16:10
	画素数 (= 総画素数)	1,024,000
投写レンズ	操作方法	ズーム:固定、フォーカス:手動
	焦点距離 / F 値	5.1 mm / 2.5
	投写比	0.35:1
	投写距離	60.5 – 70.5 cm
	レンズシフト	75%、固定
光源		230W一超高圧水銀ランプ
画面サイズ		80 – 100 型
再現色数		1,677 万色 (フルカラー)
明るさ *1		3000 ルーメン (プレゼンテーションモード)
コントラスト比 *1		2300:1 (全白:全黒、プレゼンテーションモード)
周辺照度比 *1		80%
スピーカー		10W x2 (ステレオ)
最大入力解像度		1600x1200
映像信号	PC(アナログ)	WXGA、UXGA、SXGA+、WXGA、SXGA、XGA、SVGA、VGA、Mac
	PC(デジタル)	UXGA/SXGA+/WXGA+/WXGA/SXGA/XGA/SVGA/VGA
	デジタルビデオ	1080p/1080i/720p/576p/480p
	コンポーネントビデオ	1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i
	ビデオ/S ビデオ	NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL-60
音声信号		インピーダンス 47KΩ 以上
入力端子	VGA in -1, 2	アナログ PC、コンポーネントビデオ (ミニ D-sub15 ピン)
	HDMI -1, 2	デジタル PC、デジタルビデオ入力
	S-VIDEO	S ビデオ
	VIDEO	ビデオ
	AUDIO IN(R,L)	音声入力(2RCA)
	AUDIO IN	音声入力(3.5φステレオミニジャック)
出力	VGA OUT	映像出力(ミニ D-sub15 ピン)
	AUDIO OUT	音声出力(3.5φステレオミニジャック)
制御端子	USB	USB Type B / mini USB (インタラクティブ機能にて使用)
	RS-232	シリアル接続
	RJ45	ネットワーク接続
騒音レベル		33/29 dB
使用温度範囲		5℃ – 40℃
電源		AC100V – 240V, 50 / 60Hz
消費電力		300W / 240W (フルパワー/省電力)
待機電力		6.0W / 0.5W (ネットワーク/RS232)
本体寸法		LV-WX300UST: 幅 287.5 mm ×高さ 167.6 mm ×奥行 374.5 mm (突起部を含む) LV-WX300USTi: 幅: 287.5 mm ×高さ: 193.6 mm ×奥行き: 374.5 mm(突起部を含む)
質量		5.0 kg

付属品
リモコン、リモコン用電池、電源コード、VGA ケーブル、使用説明書(CD-ROM)、かんたんガイド、
Important Information(重要なお知らせ)、保証書
インタラクティブアプリ(CD-ROM)、インタラクティブペン 2 本、インタラクティブペン用電池 4 個、MiniUSB ケーブル

*1 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
※ 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
※ 本機は JIS C 61000-3-2 適合品です。

設置距離と投映サイズ



設置距離とサイズの一覧

	WXGA			
	16:10			
対角	80"	87"	97"	100"
設置距離	282.3+/-20mm	340.3+/-20mm	421.4+/-20mm	445.8+/-20mm
画像幅	1723mm	1874mm	2088mm	2154mm
画像高さ	1077mm	1171mm	1305mm	1346mm
H	280+/-50mm	300.2+/-50mm	325.5+/-50mm	336.9+/-50mm

対応信号一覧

プロジェクタはいくつかの解像度に対応します。次の一覧は、プロジェクタで表示できる解像度の概要です。

信号	解像度	水平同期 (kHz)	垂直同期 (Hz)	コンポジット	コンポーネント	アナログ	デジタル
NTSC	—	15.734	60.0	O	—	—	—
PAL/SECAM	—	15.625	50.0	O	—	—	—
VESA	720 x 400	37.9	85.04	—	—	O	O
	640 x 480	31.5	60.0	—	—	O	O
	640 x 480	37.9	72.8	—	—	O	O
	640 x 480	37.5	75.0	—	—	O	O
	640 x 480	43.3	85.0	—	—	O	O
	800 x 600	35.2	56.3	—	—	O	O
	* 800 x 600	37.9	60.3	—	—	O	O
	800 x 600	46.9	75.0	—	—	O	O
	800 x 600	48.1	72.2	—	—	O	O
	800 x 600	53.7	85.1	—	—	O	O
	** 800 x 600	76.3	120.0	—	—	O	O
	1024 x 576	35.8	60.0	—	—	O	O
	1024 x 600	37.3	60.0	—	—	O	O
	1024 x 600	41.5	65.0	—	—	O	O
	* 1024 x 768	48.4	60.0	—	—	O	O
	1024 x 768	56.5	70.1	—	—	O	O
	1024 x 768	60.0	75.0	—	—	O	O
	1024 x 768	68.7	85.0	—	—	O	O
	** 1024 x 768	97.6	120.0	—	—	O	O
	1024 x 768	99.0	120.0	—	—	O	O
	1152 x 864	67.5	75.0	—	—	O	O
	* 1280 x 720	45.0	60.0	—	—	O	O
	* 1280 x 720	90.0	120.0	—	—	O	O
	1280 x 768	47.4	60.0	—	—	O	O
	* 1280 x 768	47.8	59.9	—	—	O	O
	* 1280 x 800	49.7	59.8	—	—	O	O
	1280 x 800	62.8	74.9	—	—	O	O
	1280 x 800	71.6	84.9	—	—	O	O
	** 1280 x 800	101.6	119.9	—	—	O	O
	*** 1280 x 1024	64.0	60.0	—	—	O	O
	1280 x 1024	80.0	75.0	—	—	O	O
	1280 x 1024	91.1	85.0	—	—	O	O
	*** 1280 x 960	60.0	60.0	—	—	O	O
	1280 x 960	85.9	85.0	—	—	O	O
	**** 1280 x 1470	—	60.0	—	—	—	O
	*** 1366 x 768	47.7	59.8	—	—	O	O
	*** 1400 x 1050	65.3	60.0	—	—	O	O
	1440 x 900	55.5	59.9	—	—	O	O
	*** 1440 x 900	55.9	59.9	—	—	O	O

信号	解像度	水平同期 (kHz)	垂直同期 （Hz）	コンポジット	コンポーネント	アナログ	デジタル
	1440 x 900	70.6	75.0	—	—	O	O
	1600 x1200	75.0	60	—	—	O	O
	1680 x 1050	64.7	59.9	—	—	O	O
	1680 x 1050	65.3	60.0	—	—	O	O
	1920 x 1200	74.0	60.0	—	—	O	O
	1920 x 1080	67.5	60.0	—	—	O	O
	**** 1920 x 2205	—	23.97	—	—	—	O
Apple Macintosh	640 x 480	35.0	66.7	—	—	O	O
	832 x 624	49.7	74.5	—	—	O	O
	1024 x 768	60.2	74.9	—	—	O	O
	1152 x 870	68.7	75.1	—	—	O	O
SDTV	480i	15.734	60.0	—	O	—	O
	576i	15.625	50.0	—	O	—	O
EDTV	576p	31.3	50.0	—	O	—	O
	480p	31.5	60.0	—	O	—	O
HDTV	720p	37.5	50.0	—	O	—	O
	720p	45.0	60.0	—	O	—	O
	1080i	33.8	60.0	—	O	—	O
	1080i	28.1	50.0	—	O	—	O
	1080p	27	24	—	O	—	O
	1080p	28	25	—	O	—	O
	1080p	33.7	30	—	O	—	O
	1080p	67.5	60.0	—	O	—	O
	1080p	56.3	50.0	—	O	—	O

O:対応する周波数

—: 対応しない周波数

*3D に関する注意：

“*”は、タイミングがフレームシーケンシャルフォーマットおよびトップ-ボトムフォーマットでの非 3D および 3D 信号をサポートすることを意味します。

“**”は、タイミングがフレームシーケンシャルフォーマットでの非 3D および 3D 信号をサポートすることを意味します。

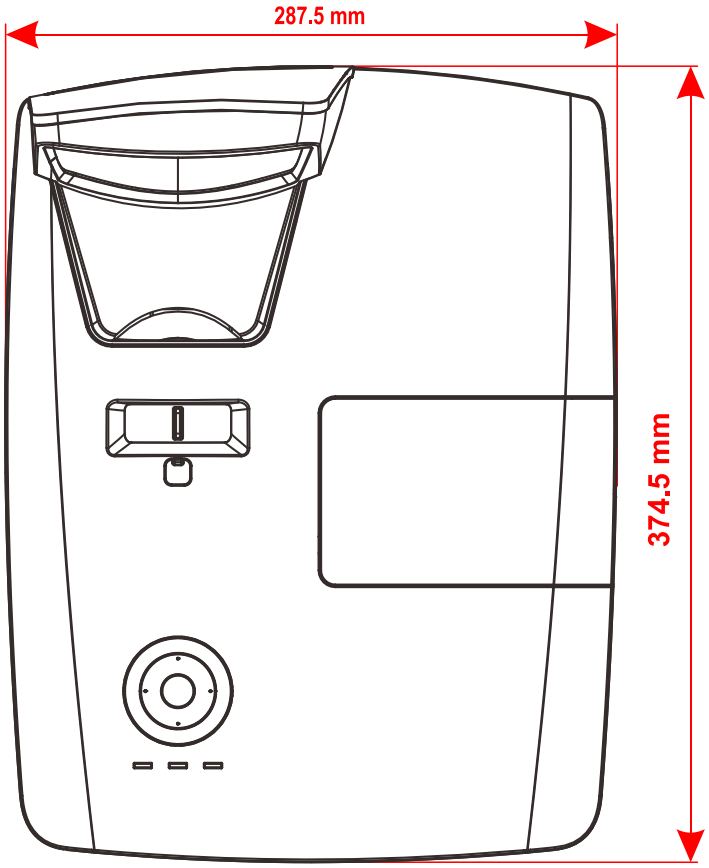
“***”は、タイミングがトップ-ボトムフォーマットでの非 3D および 3D 信号をサポートすることを意味します。

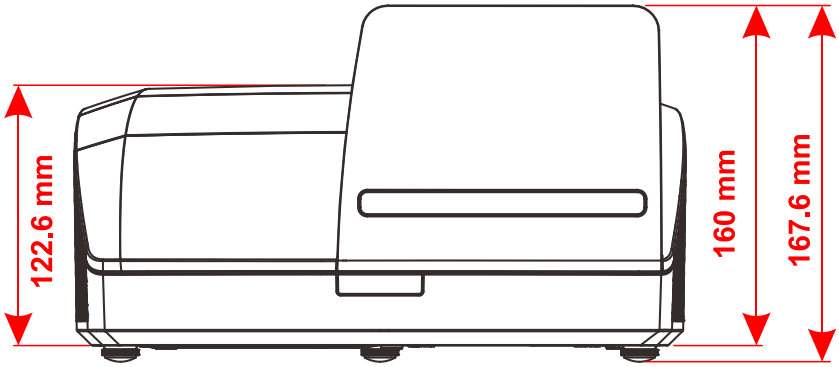
“****”は、タイミングがフレームパッキングフォーマットでの 3D 信号をサポートすることを意味します。

3D タイミング表示は、EDID ファイルおよびディスプレイカードに依存します。ユーザーが、ディスプレイカード上の上記 3D タイミングを選択できない可能性があります。

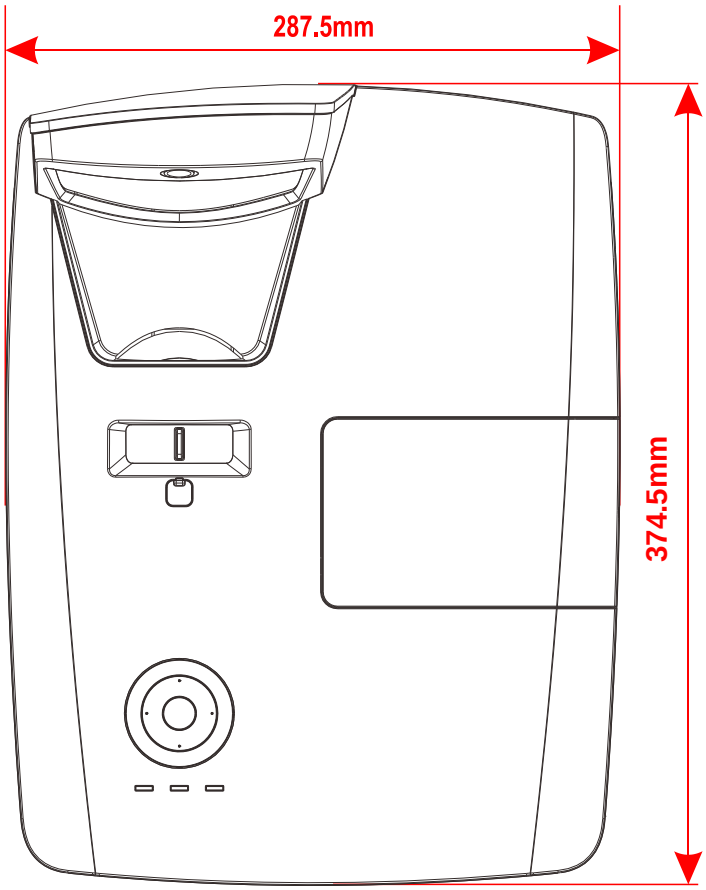
パネルの解像度は 1280 x 800 です。ネイティブ解像度以外の解像度では、表示されるテキストやラインのサイズが不規則になることがあります。

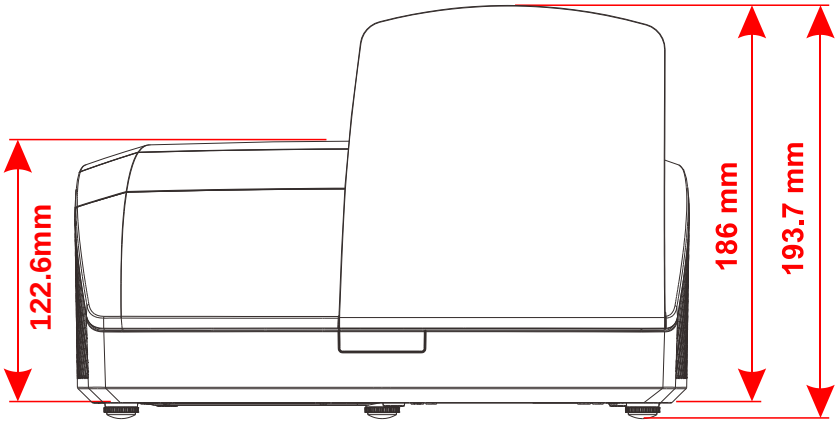
プロジェクタの寸法 (LV-WX300UST)





プロジェクタの寸法 (LV-WX300USTi)





RS-232 プロトコル

ボーレート:	9600
データビット:	8
パリティチェック:	なし
停止ビット:	1
フロー制御	なし

制御コマンド構造

コマンドは、ヘッダコード、コマンドコード、データコードおよび終了コードで構成されています。ほとんどのコマンドは、他のプロジェクタとの互換性の問題のためのいくつかを除いて構成されています。

	ヘッダコード	コマンドコード	データコード	終了コード
HEX	7Eh	Command	Data	0Dh
ASCII	'~'	Command	Data	CR

節電モード時は RS232(リモート)、ネットワーク(LAN)によるコマンド送信はできません。

制御シーケンス

プロジェクタは、コマンドを受信した後で、リターンコードを送信することができます。コマンドが正しく受信されない場合、プロジェクタはリターンコードを送信しません

操作コマンド

操作コマンドは、このプロジェクタの基本的な動作設定を実行します。

操作	ASCII	16 進法
Power On ※	~ P N CR ※	7Eh 50h 4Eh 0Dh
Power Off	~ P F CR	7Eh 50h 46h 0Dh
Auto Image	~ A I CR	7Eh 41h 49h 0Dh
Lamp Hour Reset	~ R L CR	7Eh 52h 4Ch 0Dh
Input Select RGB	~ S R CR	7Eh 53h 52h 0Dh
Input Select RGB2	~ S G CR	7Eh 53h 47h 0Dh
Input Select DVI	~ S D CR	7Eh 53h 44h 0Dh
Input Select Video	~ S V CR	7Eh 53h 56h 0Dh
Input Select S-Video	~ S S CR	7Eh 53h 53h 0Dh
Input Select Component	~ S Y CR	7Eh 53h 59h 0Dh
Input Select HDMI	~ S H CR	7Eh 53h 48h 0Dh
Input Select HDMI2	~ S I CR	7Eh 53h 49h 0Dh

※ 電源オンコマンドは、システムのスタンバイ時にのみ動作します。

※ CR : キャリッジリターン。

リモートコマンド

リモートコマンドは、赤外線リモコンハンドセットから送信されるコードをシミュレートします。

ボタン名	ASCII	16 進法
UP arrow	~ r U CR	7Eh 72h 55h 0Dh
DOWN arrow	~ r D CR	7Eh 72h 44h 0Dh
LEFT arrow	~ r L CR	7Eh 72h 4Ch 0Dh
RIGHT arrow	~ r R CR	7Eh 72h 52h 0Dh
POWER	~ r P CR	7Eh 72h 50h 0Dh
EXIT	~ r E CR	7Eh 72h 45h 0Dh
INPUT	~ r I CR	7Eh 72h 49h 0Dh
AUTO	~ r A CR	7Eh 72h 41h 0Dh
KEYSTONE+	~ r K CR	7Eh 72h 4Bh 0Dh
KEYSTONE-	~ r J CR	7Eh 72h 4Ah 0Dh
MENU	~ r M CR	7Eh 72h 4Dh 0Dh
STATUS	~ r S CR	7Eh 72h 53h 0Dh
MUTE	~ r T CR	7Eh 72h 54h 0Dh
ZOOM+	~ r Z CR	7Eh 72h 5Ah 0Dh
ZOOM-	~ r Y CR	7Eh 72h 59h 0Dh
BLANK	~ r B CR	7Eh 72h 42h 0Dh
FREEZE	~ r F CR	7Eh 72h 46h 0Dh
VOLUME+	~ r V CR	7Eh 72h 56h 0Dh
VOLUME-	~ r W CR	7Eh 72h 57h 0Dh
Enter	~ r N CR	7Eh 72h 4Eh 0Dh

値設定コマンド

項目	ASCII	16 進法
Brightness	~ s B ? CR ※	7Eh 73h 42h ?h 0Dh
Contrast	~ s C ? CR	7Eh 73h 43h ?h 0Dh
Color	~ s R ? CR	7Eh 73h 52h ?h 0Dh
Tint	~ s N ? CR	7Eh 73h 4Eh ?h 0Dh
Scaling	~ s A ? CR	7Eh 73h 41h ?h 0Dh
Color Temperature	~ s T ? CR	7Eh 73h 54h ?h 0Dh
Projection Mode	~ s J ? CR	7Eh 73h 4Ah ?h 0Dh
Sharpness	~ s H ? CR	7Eh 73h 48h ?h 0Dh

※ ＊?: ASCII データ

データ範囲

項目	データ範囲設定	入力
Brightness	0 ~ 100	ALL
Contrast	0 ~ 100	ALL
Color	0 ~ 100	Video/S-Video/Component
Tint	0 ~ 100	Video/S-Video/Component
Scaling	0: Fill 1: 4:3 2: 16:9 3 :Letter Box 4 :Native	ALL
Color Temperature	0 :Native 1: 6500K 2:7500K 3: 8200K	ALL
Projection Mode	0: Rear Table 1: Front Table 2: Rear Ceiling 3: Front Ceiling	ALL
Sharpness	0~31	ALL

注意: データ範囲は、異なるモデルに対して異なる場合があります

例 1. 100 に明るさ値を調整します

コマンドを送信：~sB100CR

例 2. 色温度を暖に調整します

コマンドを送信：~sT2CR

クエリコマンド

項目	ASCII	16 進法
Software Version	~ q V CR	7Eh 71h 56h 0Dh
Power State	~ q P CR	7Eh 71h 50h 0Dh
Input Select	~ q S CR	7Eh 71h 53h 0Dh
Lamp Hours	~ q L CR	7Eh 71h 4Ch 0Dh
Brightness	~ q B CR	7Eh 71h 42h 0Dh
Contrast	~ q C CR	7Eh 71h 43h 0Dh
Color (Video)	~ q R CR	7Eh 71h 52h 0Dh
Tint (Video)	~ q N CR	7Eh 71h 4Eh 0Dh
Scaling	~ q A CR	7Eh 71h 41h 0Dh
Color Temperature	~ q T CR	7Eh 71h 54h 0Dh
Projection Mode	~ q J CR	7Eh 71h 4Ah 0Dh
Sharpness	~ q H CR	7Eh 71h 48h 0Dh
Volume	~ q M CR	7Eh 71h 4Dh 0Dh
Freeze Status	~ q Z CR	7Eh 71h 5Ah 0Dh
Mute Status	~ q U CR	7Eh 71h 55h 0Dh
Blank Status	~ q K CR	7Eh 71h 4Bh 0Dh

応答メッセージ

項目	応答メッセージの例	
Software Version	…..	
Power State	On Off	
Input Select	RGB1 RGB2 DVI Video S-Video Component HDMI	
Lamp Hours	2000	
Brightness	100	
Contrast	100	
Color (Video)	100	
Tint (Video)	100	
Scaling	Fill 4:3 16:9 LetterBox Native	
Color Temperature	Native 6500K 7500K 8200K	
Projection Mode	Rear Table Front Table Rear Ceiling Front Ceiling	
Sharpness	31	
Volume	8	
Freeze Status	On Off	
Mute Status	On Off	
Blank Status	On Off	

例 1. 明るさ値の取得

コマンドを送信：~qBCR

応答：100

例 2. 色温度の取得

コマンドを送信：~qTCR

応答：6500K

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	→	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

［受付時間］〈平日〉9:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

YT1-7454-003
© CANON INC. 2015